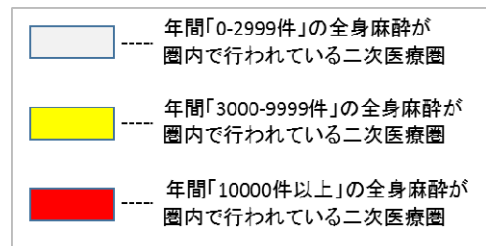
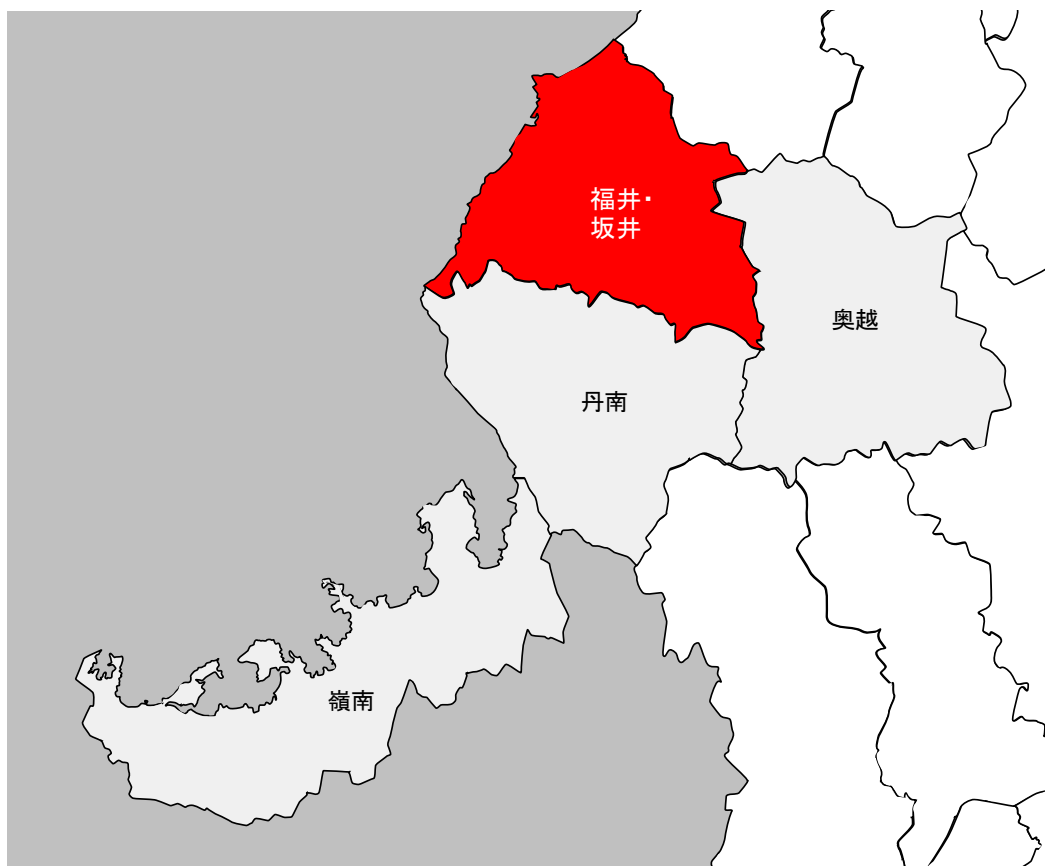


18. 福井県



目次

福井県	18	-	3
1. 福井・坂井医療圏	18	-	9
2. 奥越医療圏	18	-	15
3. 丹南医療圏	18	-	21
4. 嶺南医療圏	18	-	27

福井県

<医師数の推移>

1996年から2016年にかけて、総人口は40,256人(-5%)減少した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は441人(30%)増加した。2016年の人口10万人当たり医師数は244人であり、全国平均(240人)と比べて高いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は36%増え、その伸び率は全国平均(31%)を上回る。

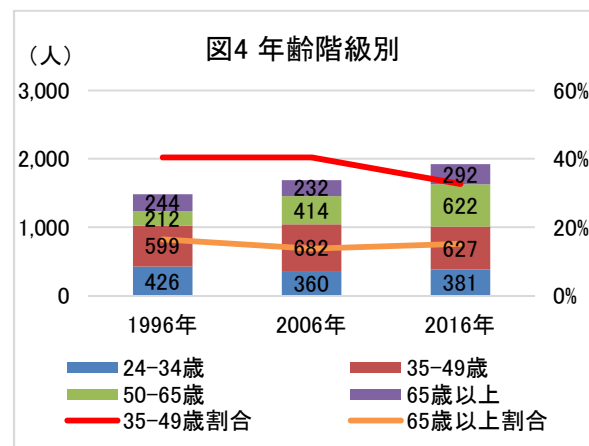
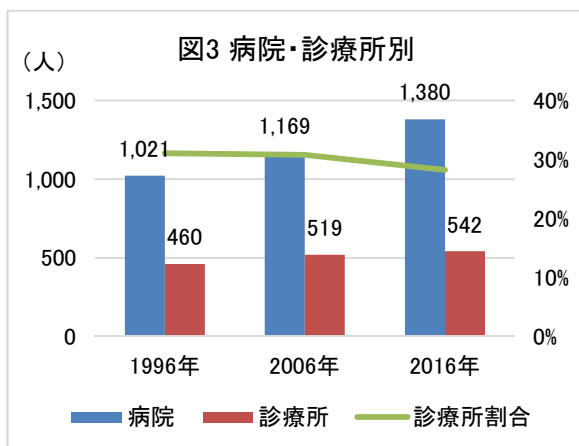
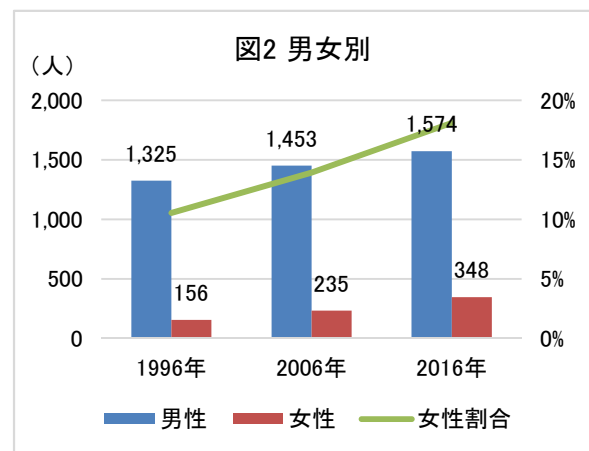
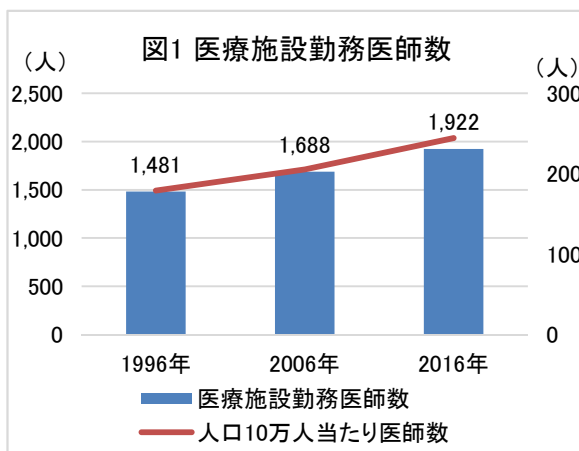
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて249人(19%)増え、全国平均(20%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に192人(123%)増え、全国平均(111%)を上回る増加率である。2016年の女性医師割合は18%と、全国平均(21%)を下回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて359人(35%)増え、全国平均(37%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に82人(18%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。2016年の診療所医師割合は28%と、全国平均(34%)を下回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は28人(5%)増え、全国平均(11%)を下回る増加率となっており、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて48人(20%)増え、全国平均(20%)と同程度の増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年16%、2016年15%と減少傾向にある。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

福井県

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	826,996	821,592	786,740	-40,256	-5%	-5,404	-1%	-34,852	-4%	
総医師数	1,557	1,768	2,002	445	29%	211	14%	234	13%	
人口10万対	188.3	215.2	254.5	66.2	35%	26.9	14%	39.3	18%	
医療施設勤務医師数	1,481	1,688	1,922	441	30%	207	14%	234	14%	
人口10万対	179.1	205.5	244.3	65.2	36%	26.4	15%	38.8	19%	
男性医師数	1,325	1,453	1,574	249	19%	128	10%	121	8%	
人口10万対	160.2	176.9	200.1	39.8	25%	16.6	10%	23.2	13%	
女性医師数	156	235	348	192	123%	79	51%	113	48%	
人口10万対	18.9	28.6	44.2	25.4	134%	9.7	52%	15.6	55%	
病院勤務医師数	1,021	1,169	1,380	359	35%	148	14%	211	18%	
人口10万対	123.5	142.3	175.4	51.9	42%	18.8	15%	33.1	23%	
診療所勤務医師数	460	519	542	82	18%	59	13%	23	4%	
人口10万対	55.6	63.2	68.9	13.3	24%	7.5	14%	5.7	9%	
医療施設勤務医 平均年齢	45.9	47.9	49.6	3.7	8%	1.9	4%	1.8	4%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	426	360	381	-45	-11%	-66	-15%	21	6%
	35-49歳	599	682	627	28	5%	83	14%	-55	-8%
	50-64歳	212	414	622	410	193%	202	95%	208	50%
	65歳以上	244	232	292	48	20%	-12	-5%	60	26%
	75歳以上(再掲)	73	120	102	29	40%	47	64%	-18	-15%
男性	24-34歳	354	251	257	-97	-27%	-103	-29%	6	2%
	35-49歳	548	604	467	-81	-15%	56	10%	-137	-23%
	50-64歳	199	387	568	369	185%	188	94%	181	47%
	65歳以上	224	211	282	58	26%	-13	-6%	71	34%
	75歳以上(再掲)	65	106	98	33	51%	41	63%	-8	-8%
女性	24-34歳	72	109	124	52	72%	37	51%	15	14%
	35-49歳	51	78	160	109	214%	27	53%	82	105%
	50-64歳	13	27	54	41	315%	14	108%	27	100%
	65歳以上	20	21	10	-10	-50%	1	5%	-11	-52%
	75歳以上(再掲)	8	14	4	-4	-50%	6	75%	-10	-71%
病院	24-34歳	413	348	375	-38	-9%	-65	-16%	27	8%
	35-49歳	434	545	530	96	22%	111	26%	-15	-3%
	50-64歳	103	204	362	259	251%	101	98%	158	77%
	65歳以上	71	72	113	42	59%	1	1%	41	57%
	75歳以上(再掲)	19	34	38	19	100%	15	79%	4	12%
診療所	24-34歳	13	12	6	-7	-54%	-1	-8%	-6	-50%
	35-49歳	165	137	97	-68	-41%	-28	-17%	-40	-29%
	50-64歳	109	210	260	151	139%	101	93%	50	24%
	65歳以上	173	160	179	6	3%	-13	-8%	19	12%
	75歳以上(再掲)	54	86	64	10	19%	32	59%	-22	-26%
	85歳以上(再掲)	11	15	18	7	64%	4	36%	3	20%

福井県

＜医師数の推移＞

福井県において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科は、耳鼻咽喉科、放射線科、救急科であり、少ない診療科は、小児外科である。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、外科(総数)、産婦人科(総数)である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、精神科、心臓血管外科、形成外科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、救急科である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	1,481	179.1	49	1,688	205.5	50	1,922	244.3	51	441	30%	65.2	36%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	591	71.5	49	593	72.2	48	648	82.4	48	57	10%	10.9	15%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	93	11.2	51	110	13.4	54	125	15.9	55	32	34%	4.6	41%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	55	6.7	47	76	9.3	49	92	11.7	49	37	67%	5.0	76%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	197	23.8	53	172	20.9	54	174	22.1	54	-23	-12%	-1.7	-7%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	1	0.1	45	0	0.0	41	1	0.1	42	0	0%	0.0	5%
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	8	1.0	46	19	2.3	52	20	2.5	50	12	150%	1.6	163%
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	43	5.2	53	46	5.6	53	52	6.6	53	9	21%	1.4	27%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	117	14.1	52	130	15.8	52	145	18.4	53	28	24%	4.3	30%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	4	0.5	45	5	0.6	44	11	1.4	46	7	175%	0.9	189%
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	40	4.8	48	46	5.6	48	54	6.9	49	14	35%	2.0	42%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	57	6.9	46	71	8.6	48	78	9.9	49	21	37%	3.0	44%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	65	7.9	52	69	8.4	54	78	9.9	58	13	20%	2.1	26%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	34	4.1	50	43	5.2	52	50	6.4	53	16	47%	2.2	55%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	88	10.6	52	81	9.9	52	83	10.5	50	-5	-6%	-0.1	-1%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	1	0.1	42	21	2.6	59	18	2.3	52	17	1700%	2.2	1792%
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	39	4.7	55	48	5.8	57	64	8.1	58	25	64%	3.4	72%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	33	4.0	50	32	3.9	47	51	6.5	48	18	55%	2.5	62%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				17	2.1	55	38	4.8	61	21	124%	2.8	133%
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				81	9.9	48	106	13.5	50	106	31%	3.6	37%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	15	1.8	44	28	3.4	47	34	4.3	45	19	127%	2.5	138%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

福井県

< 医師将来推計 >

2016年から2036年にかけて、総人口は119,211人(-15%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は393人(20%)増加すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は347人であり、全国平均(329人)と比べて高いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は42%増え、その伸び率は全国平均(37%)を上回る。

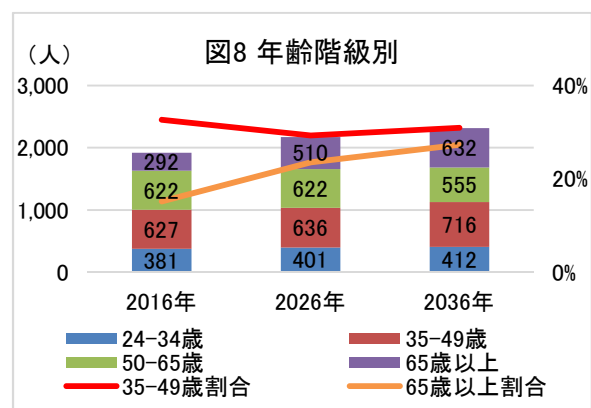
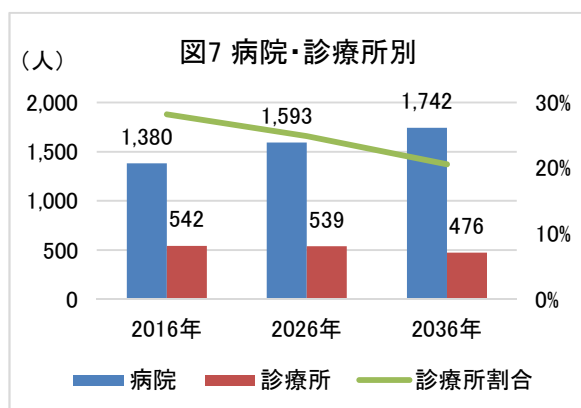
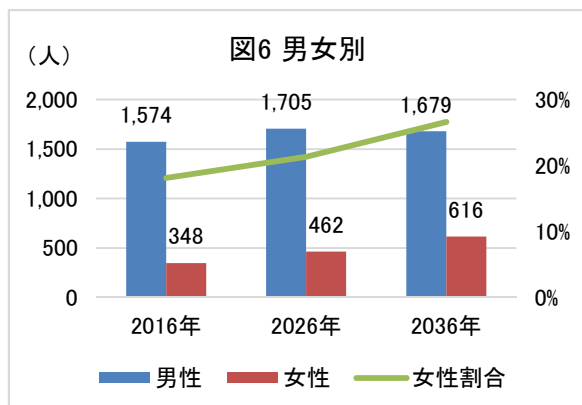
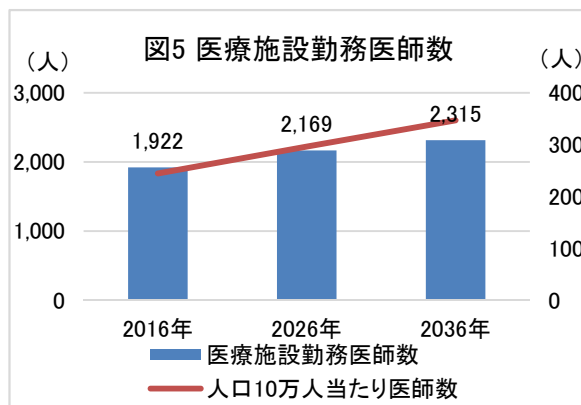
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて105人(7%)増え、全国平均(7%)と同程度の増加率である。女性医師は、同期間に268人(77%)増え、全国平均(76%)を上回る増加率である。2036年の女性医師割合は27%と、全国平均(31%)を下回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて362人(26%)増え、全国平均(25%)を上回る増加率である。診療所医師は、同期間に66人(-12%)減り、全国平均(-7%)を上回る減少率である。2036年の診療所医師割合は21%と、全国平均(26%)を下回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は89人(14%)増え、全国平均(8%)を上回る増加率と推計された。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて340人(116%)増え、全国平均(93%)を上回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年15%、2036年27%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



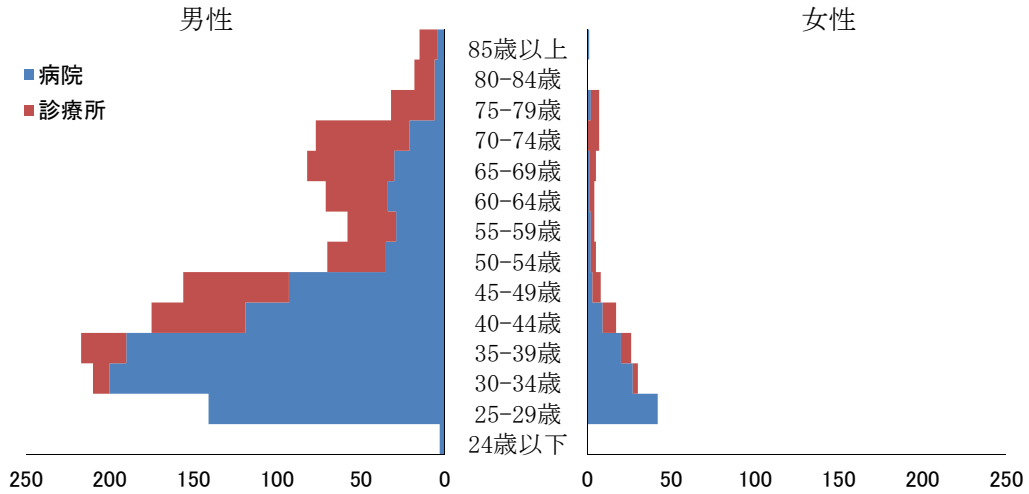
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

福井県

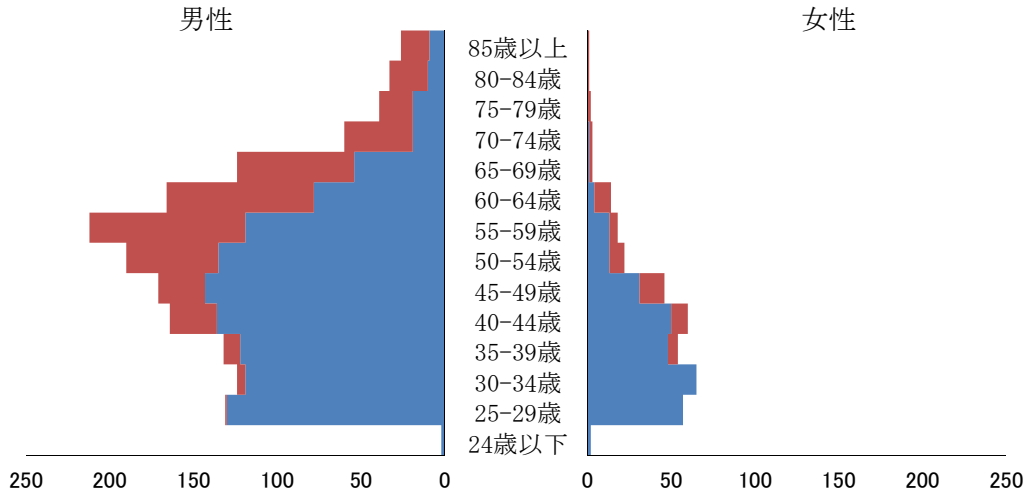
<医師数ピラミッドの推移(含推計)>

(単位:人)

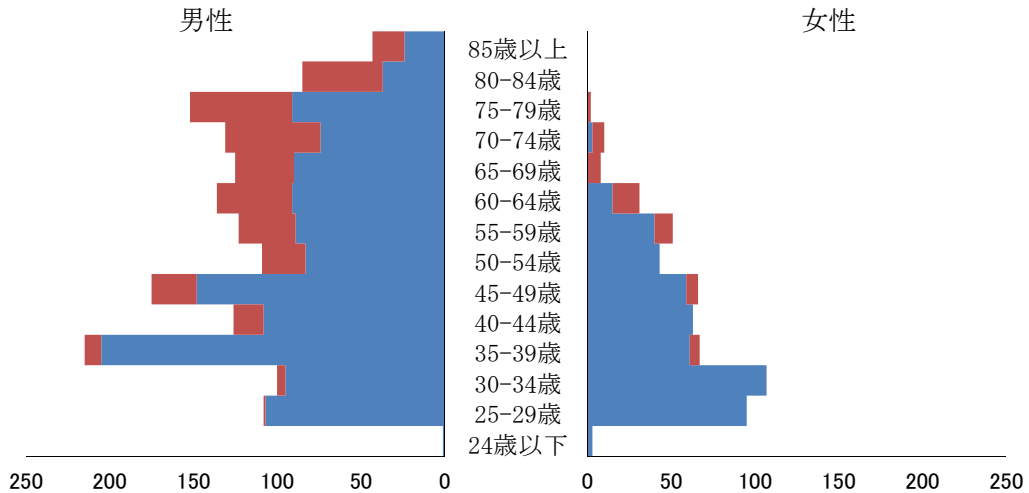
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

福井県

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	786,740	731,030	667,529	-119,211	-15%	-55,710	-7%	-63,501	-9%	
医療施設勤務医師数	1,922	2,169	2,315	393	20%	247	13%	146	7%	
人口10万対	244.3	296.7	346.8	102.5	42%	52.4	21%	50.1	17%	
男性医師数	1,574	1,705	1,679	105	7%	131	8%	-26	-2%	
人口10万対	200.1	233.2	251.5	51.5	26%	33.2	17%	18.3	8%	
女性医師数	348	462	616	268	77%	114	33%	154	33%	
人口10万対	44.2	63.2	92.3	48.0	109%	19.0	43%	29.1	46%	
病院勤務医師数	1,380	1,593	1,742	362	26%	213	15%	149	9%	
人口10万対	175.4	217.9	261.0	85.6	49%	42.5	24%	43.1	20%	
診療所勤務医師数	542	539	476	-66	-12%	-3	-1%	-63	-12%	
人口10万対	68.9	73.7	71.3	2.4	4%	4.8	7%	-2.4	-3%	
医療施設 勤務医師 数	24-34歳	381	401	412	31	8%	20	5%	11	3%
	35-49歳	627	636	716	89	14%	9	1%	80	13%
	50-64歳	622	622	555	-67	-11%	0	0%	-67	-11%
	65歳以上	292	510	632	340	116%	218	75%	122	24%
	75歳以上(再掲)	102	160	280	178	175%	58	57%	120	75%
男性	24-34歳	257	272	209	-48	-19%	15	6%	-63	-23%
	35-49歳	467	448	514	47	10%	-19	-4%	66	15%
	50-64歳	568	501	381	-187	-33%	-67	-12%	-120	-24%
	65歳以上	282	484	575	293	104%	202	72%	91	19%
	75歳以上(再掲)	98	159	273	175	179%	61	62%	114	72%
女性	24-34歳	124	130	204	80	65%	6	5%	74	57%
	35-49歳	160	194	212	52	33%	34	21%	18	9%
	50-64歳	54	125	179	125	231%	71	131%	54	43%
	65歳以上	10	13	21	11	110%	3	30%	8	62%
	75歳以上(再掲)	4	1	2	-2	-50%	-3	-75%	1	100%
病院	24-34歳	375	395	406	31	8%	20	5%	11	3%
	35-49歳	530	551	622	92	17%	21	4%	71	13%
	50-64歳	362	417	379	17	5%	55	15%	-38	-9%
	65歳以上	113	230	335	222	196%	117	104%	105	46%
	75歳以上(再掲)	38	77	150	112	295%	39	103%	73	95%
診療所	24-34歳	6	6	6	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	97	72	73	-24	-25%	-25	-26%	1	1%
	50-64歳	260	184	142	-118	-45%	-76	-29%	-42	-23%
	65歳以上	179	277	255	76	42%	98	55%	-22	-8%
	75歳以上(再掲)	64	89	136	72	113%	25	39%	47	53%
	85歳以上(再掲)	18	14	18	0	0%	-4	-22%	4	29%

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

福井・坂井医療圏

<医師数の推移>

1996年から2016年にかけて、総人口は7,659人(-2%)減少した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は373人(37%)増加した。2016年の人口10万人当たり医師数は343人であり、全国平均(240人)と比べて高いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は39%増え、その伸び率は全国平均(31%)を上回る。

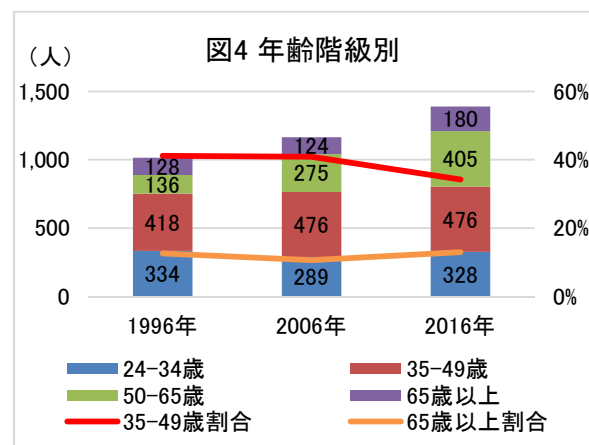
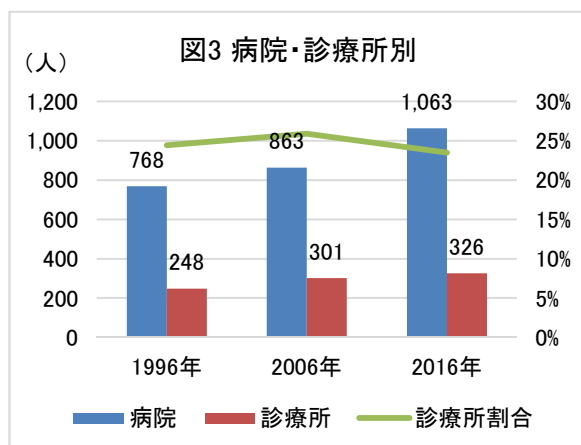
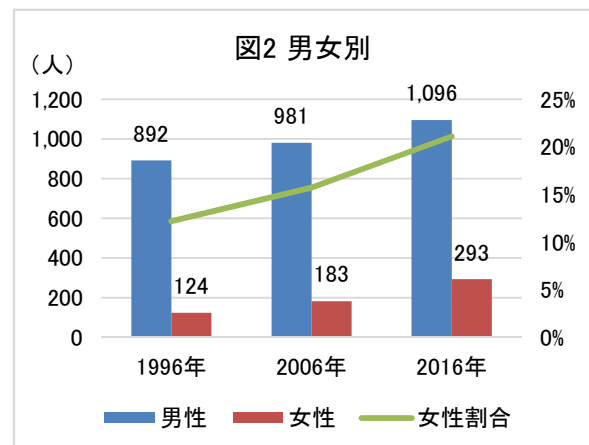
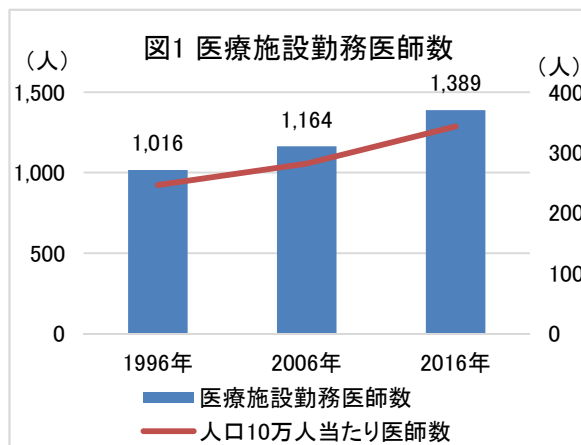
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて204人(23%)増え、全国平均(20%)を上回る増加率である。女性医師は、同期間に169人(136%)増え、全国平均(111%)を上回る増加率である。2016年の女性医師割合は21%と、全国平均(21%)と同程度である。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて295人(38%)増え、全国平均(37%)を上回る増加率である。診療所医師は、同期間に78人(31%)増え、全国平均(25%)を上回る増加率である。2016年の診療所医師割合は23%と、全国平均(34%)を下回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は58人(14%)増え、全国平均(11%)を上回る増加率である。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて52人(41%)増え、全国平均(20%)を上回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年13%、2016年13%と横ばいである。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

福井・坂井医療圏

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	412,455	413,307	404,796	-7,659	-2%	852	0%	-8,511	-2%	
総医師数	1,073	1,218	1,445	372	35%	145	14%	227	19%	
人口10万対	260.1	294.7	357.0	96.8	37%	34.5	13%	62.3	21%	
医療施設勤務医師数	1,016	1,164	1,389	373	37%	148	15%	225	19%	
人口10万対	246.3	281.6	343.1	96.8	39%	35.3	14%	61.5	22%	
男性医師数	892	981	1,096	204	23%	89	10%	115	12%	
人口10万対	216.3	237.4	270.8	54.5	25%	21.1	10%	33.4	14%	
女性医師数	124	183	293	169	136%	59	48%	110	60%	
人口10万対	30.1	44.3	72.4	42.3	141%	14.2	47%	28.1	63%	
病院勤務医師数	768	863	1,063	295	38%	95	12%	200	23%	
人口10万対	186.2	208.8	262.6	76.4	41%	22.6	12%	53.8	26%	
診療所勤務医師数	248	301	326	78	31%	53	21%	25	8%	
人口10万対	60.1	72.8	80.5	20.4	34%	12.7	21%	7.7	11%	
医療施設勤務医 平均年齢	44.0	46.0	47.9	3.8	9%	1.9	4%	1.9	4%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	334	289	328	-6	-2%	-45	-13%	39	13%
	35-49歳	418	476	476	58	14%	58	14%	0	0%
	50-64歳	136	275	405	269	198%	139	102%	130	47%
	65歳以上	128	124	180	52	41%	-4	-3%	56	45%
	75歳以上(再掲)	38	58	60	22	58%	20	53%	2	3%
男性	24-34歳	270	199	214	-56	-21%	-71	-26%	15	8%
	35-49歳	381	417	341	-40	-10%	36	9%	-76	-18%
	50-64歳	126	254	368	242	192%	128	102%	114	45%
	65歳以上	115	111	173	58	50%	-4	-3%	62	56%
	75歳以上(再掲)	33	49	57	24	73%	16	48%	8	16%
女性	24-34歳	64	90	114	50	78%	26	41%	24	27%
	35-49歳	37	59	135	98	265%	22	59%	76	129%
	50-64歳	10	21	37	27	270%	11	110%	16	76%
	65歳以上	13	13	7	-6	-46%	0	0%	-6	-46%
	75歳以上(再掲)	5	9	3	-2	-40%	4	80%	-6	-67%
病院	24-34歳	329	284	326	-3	-1%	-45	-14%	42	15%
	35-49歳	324	398	417	93	29%	74	23%	19	5%
	50-64歳	73	144	252	179	245%	71	97%	108	75%
	65歳以上	42	37	68	26	62%	-5	-12%	31	84%
	75歳以上(再掲)	10	15	24	14	140%	5	50%	9	60%
診療所	24-34歳	5	5	2	-3	-60%	0	0%	-3	-60%
	35-49歳	94	78	59	-35	-37%	-16	-17%	-19	-24%
	50-64歳	63	131	153	90	143%	68	108%	22	17%
	65歳以上	86	87	112	26	30%	1	1%	25	29%
	75歳以上(再掲)	28	43	36	8	29%	15	54%	-7	-16%
	85歳以上(再掲)	6	6	12	6	100%	0	0%	6	100%

福井・坂井医療圏

＜医師数の推移＞

福井・坂井医療圏において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科は、内科(総数)、小児科、精神科、外科(総数)、心臓血管外科、脳神経外科、整形外科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、産婦人科(総数)、放射線科、麻酔科、救急科、臨床研修医であり、少ない診療科は、小児外科である。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、外科(総数)である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、精神科、心臓血管外科、形成外科、放射線科、救急科である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	1,016	246.3	58	1,164	281.6	59	1,389	343.1	62	373	37%	96.8	39%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	381	92.4	55	378	91.5	55	437	108.0	56	56	15%	15.6	17%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	69	16.7	63	76	18.4	65	93	23.0	68	24	35%	6.2	37%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	44	10.7	57	54	13.1	57	67	16.6	58	23	52%	5.9	55%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	122	29.6	60	105	25.4	60	118	29.2	64	-4	-3%	-0.4	-1%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	1	0.2	47	0	0.0	41	1	0.2	44	0	0%	0.0	2%
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	8	1.9	52	18	4.4	64	20	4.9	64	12	150%	3.0	155%
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	32	7.8	63	35	8.5	65	34	8.4	60	2	6%	0.6	8%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	77	18.7	61	82	19.8	60	98	24.2	64	21	27%	5.5	30%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	3	0.7	47	5	1.2	48	11	2.7	54	8	267%	2.0	274%
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	32	7.8	57	33	8.0	56	41	10.1	58	9	28%	2.4	31%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	40	9.7	52	49	11.9	55	59	14.6	60	19	48%	4.9	50%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	46	11.2	62	49	11.9	65	53	13.1	69	7	15%	1.9	17%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	29	7.0	63	32	7.7	63	38	9.4	65	9	31%	2.4	34%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	56	13.6	59	57	13.8	62	65	16.1	62	9	16%	2.5	18%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	0	0.0	40	14	3.4	66	11	2.7	55	11		2.7	
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	36	8.7	68	44	10.6	73	56	13.8	73	20	56%	5.1	58%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	28	6.8	58	24	5.8	53	41	10.1	57	13	46%	3.3	49%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				17	4.1	71	32	7.9	75	15	88%	3.8	92%
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				76	18.4	58	93	23.0	61	93	22%	4.6	25%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	12	2.9	47	16	3.9	47	21	5.2	46	9	75%	2.3	78%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

福井・坂井医療圏

< 医師将来推計 >

2016年から2036年にかけて、総人口は56,844人(-14%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は361人(26%)増加すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は503人であり、全国平均(329人)と比べて高いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は47%増え、その伸び率は全国平均(37%)を上回る。

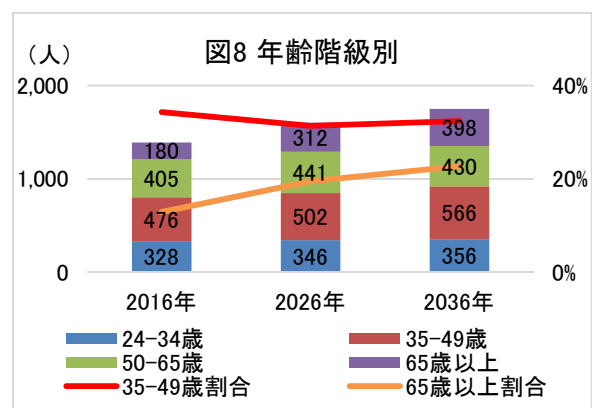
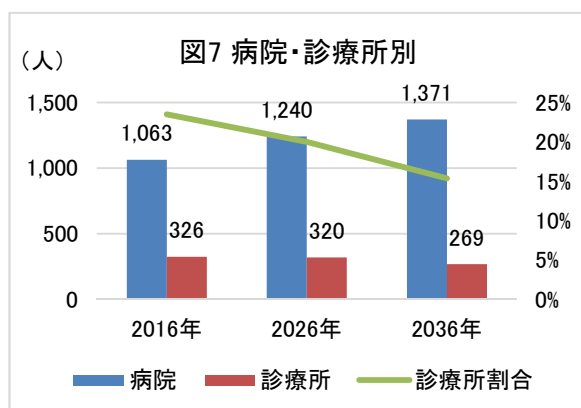
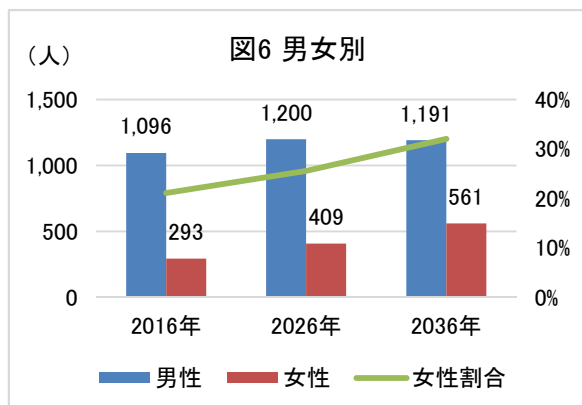
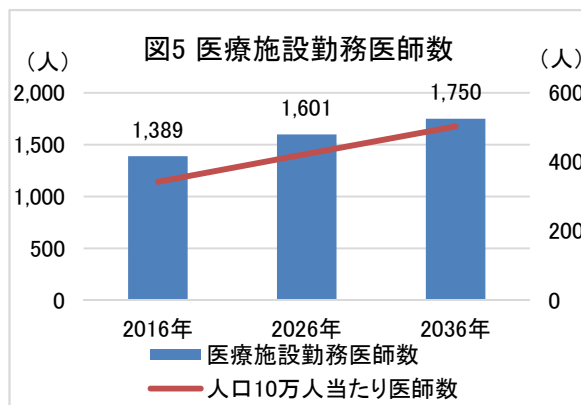
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて95人(9%)増え、全国平均(7%)を上回る増加率である。女性医師は、同期間に268人(91%)増え、全国平均(76%)を上回る増加率である。2036年の女性医師割合は32%と、全国平均(31%)を上回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて308人(29%)増え、全国平均(25%)を上回る増加率である。診療所医師は、同期間に57人(-17%)減り、全国平均(-7%)を上回る減少率である。2036年の診療所医師割合は15%と、全国平均(26%)を下回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は90人(19%)増え、全国平均(8%)を上回る増加率と推計された。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて218人(121%)増え、全国平均(93%)を上回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年13%、2036年23%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



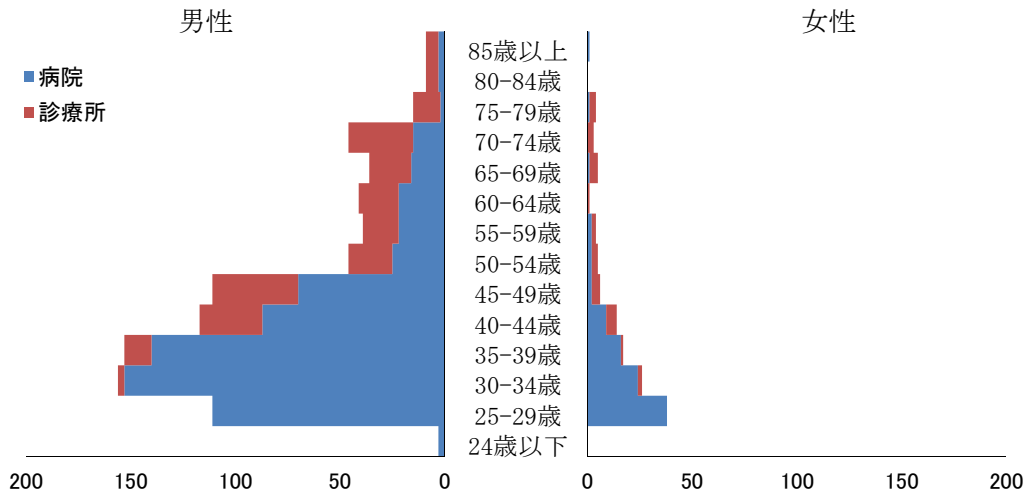
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

福井・坂井医療圏

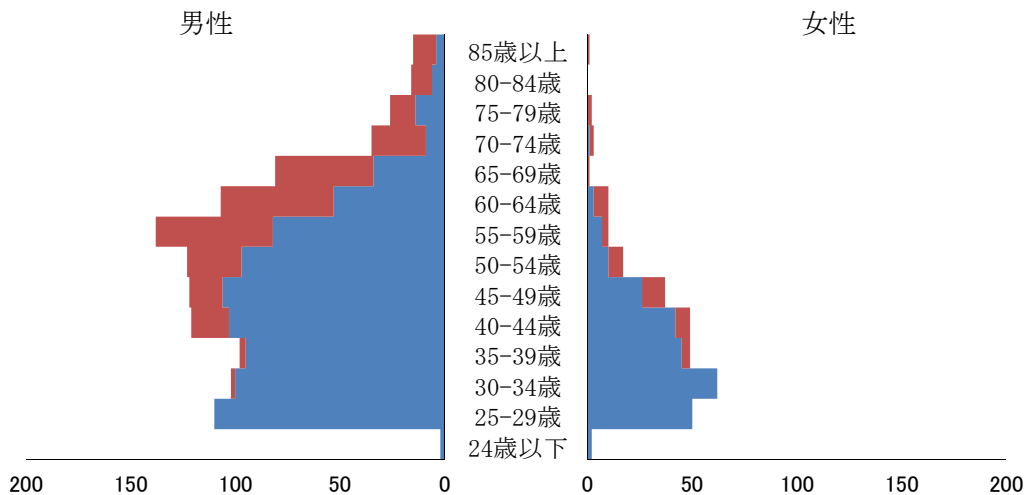
< 医師数ピラミッドの推移 (含推計) >

(単位:人)

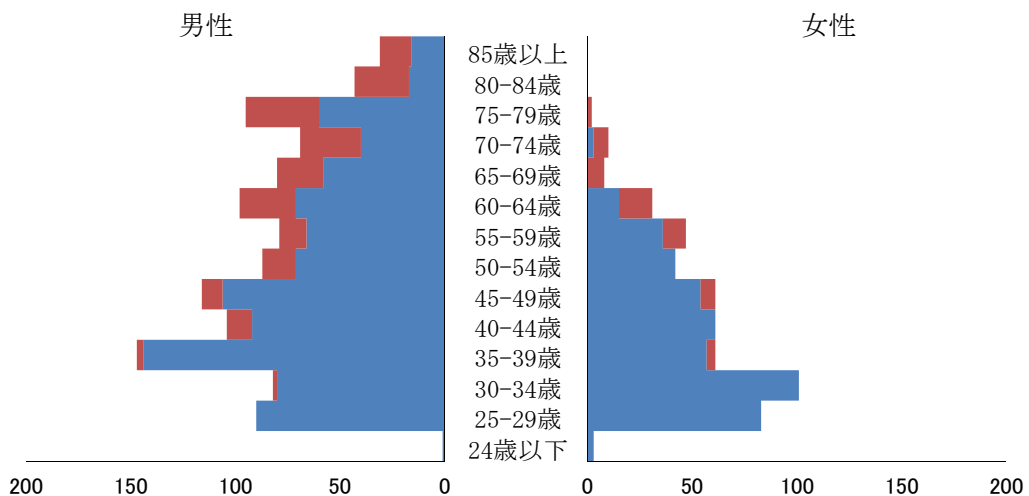
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

福井・坂井医療圏

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	404,796	377,935	347,952	-56,844	-14%	-26,861	-7%	-29,983	-8%	
医療施設勤務医師数	1,389	1,601	1,750	361	26%	212	15%	149	9%	
人口10万対	343.1	423.6	502.9	159.8	47%	80.5	23%	79.3	19%	
男性医師数	1,096	1,200	1,191	95	9%	104	9%	-9	-1%	
人口10万対	270.8	317.5	342.3	71.5	26%	46.8	17%	24.8	8%	
女性医師数	293	409	561	268	91%	116	40%	152	37%	
人口10万対	72.4	108.2	161.2	88.8	123%	35.8	50%	53.0	49%	
病院勤務医師数	1,063	1,240	1,371	308	29%	177	17%	131	11%	
人口10万対	262.6	328.1	394.0	131.4	50%	65.5	25%	65.9	20%	
診療所勤務医師数	326	320	269	-57	-17%	-6	-2%	-51	-16%	
人口10万対	80.5	84.7	77.3	-3.2	-4%	4.1	5%	-7.4	-9%	
医療施設 勤務医師 数	24-34歳	328	346	356	28	9%	18	5%	10	3%
	35-49歳	476	502	566	90	19%	26	5%	64	13%
	50-64歳	405	441	430	25	6%	36	9%	-11	-2%
	65歳以上	180	312	398	218	121%	132	73%	86	28%
	75歳以上(再掲)	60	103	169	109	182%	43	72%	66	64%
男性	24-34歳	214	227	173	-41	-19%	13	6%	-54	-24%
	35-49歳	341	328	378	37	11%	-13	-4%	50	15%
	50-64歳	368	347	280	-88	-24%	-21	-6%	-67	-19%
	65歳以上	173	298	360	187	108%	125	72%	62	21%
	75歳以上(再掲)	57	102	167	110	193%	45	79%	65	64%
女性	24-34歳	114	120	186	72	63%	6	5%	66	55%
	35-49歳	135	181	198	63	47%	46	34%	17	9%
	50-64歳	37	96	157	120	324%	59	159%	61	64%
	65歳以上	7	12	20	13	186%	5	71%	8	67%
	75歳以上(再掲)	3	1	2	-1	-33%	-2	-67%	1	100%
病院	24-34歳	326	344	354	28	9%	18	6%	10	3%
	35-49歳	417	450	505	88	21%	33	8%	55	12%
	50-64歳	252	315	311	59	23%	63	25%	-4	-1%
	65歳以上	68	131	201	133	196%	63	93%	70	53%
	75歳以上(再掲)	24	50	89	65	271%	26	108%	39	78%
診療所	24-34歳	2	2	2	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	59	34	35	-24	-41%	-25	-42%	1	3%
	50-64歳	153	109	79	-74	-48%	-44	-29%	-30	-28%
	65歳以上	112	175	153	41	37%	63	56%	-22	-13%
	75歳以上(再掲)	36	54	81	45	125%	18	50%	27	50%
	85歳以上(再掲)	12	10	15	3	25%	-2	-17%	5	50%

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

奥越医療圏

<医師数の推移>

1996年から2016年にかけて、総人口は12,997人(-19%)減少した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は11人(19%)増加した。2016年の人口10万人当たり医師数は122人であり、全国平均(240人)と比べて低いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は46%増え、その伸び率は全国平均(31%)を上回る。

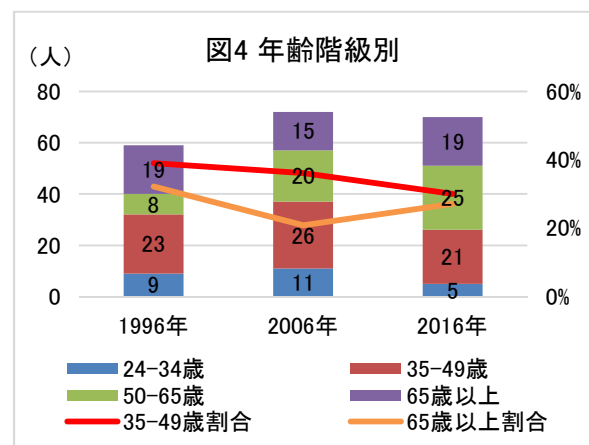
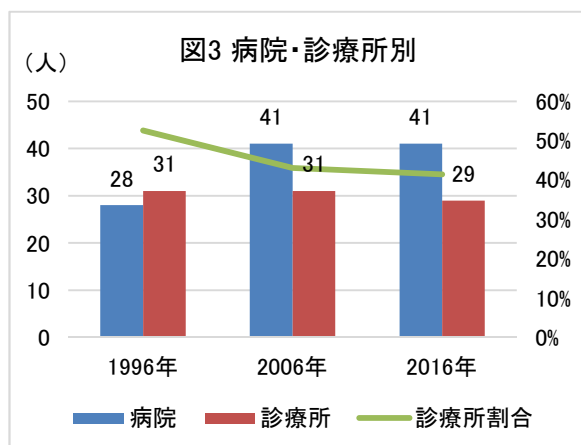
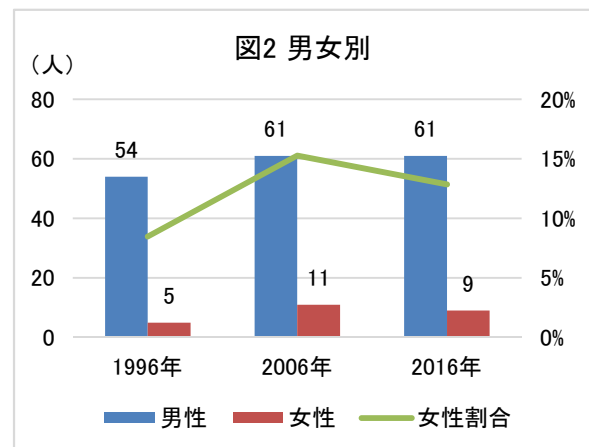
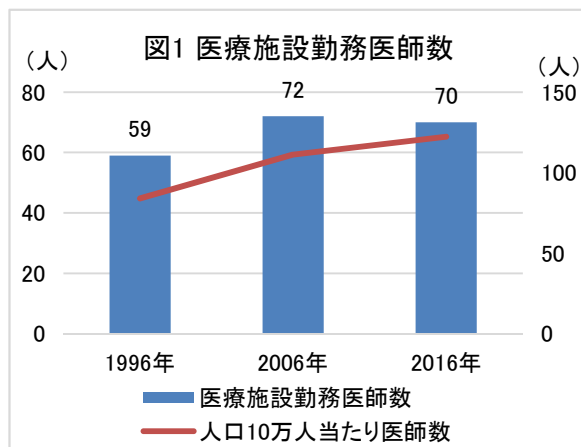
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて7人(13%)増え、全国平均(20%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に4人(80%)増え、全国平均(111%)を下回る増加率である。2016年の女性医師割合は13%と、全国平均(21%)を下回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて13人(46%)増え、全国平均(37%)を上回る増加率である。診療所医師は、同期間に2人(-6%)減り、全国平均(25%)を下回る増加率である。2016年の診療所医師割合は41%と、全国平均(34%)を上回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は2人(-9%)減り、全国平均(11%)を下回る増加率となっており、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて増減がなく、全国平均(20%)を下回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年32%、2016年27%と減少傾向にある。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

奥越医療圏

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	70,231	64,804	57,234	-12,997	-19%	-5,427	-8%	-7,570	-12%	
総医師数	63	77	72	9	14%	14	22%	-5	-6%	
人口10万対	89.7	118.8	125.8	36.1	40%	29.1	32%	7.0	6%	
医療施設勤務医師数	59	72	70	11	19%	13	22%	-2	-3%	
人口10万対	84.0	111.1	122.3	38.3	46%	27.1	32%	11.2	10%	
男性医師数	54	61	61	7	13%	7	13%	0	0%	
人口10万対	76.9	94.1	106.6	29.7	39%	17.2	22%	12.5	13%	
女性医師数	5	11	9	4	80%	6	120%	-2	-18%	
人口10万対	7.1	17.0	15.7	8.6	121%	9.9	138%	-1.2	-7%	
病院勤務医師数	28	41	41	13	46%	13	46%	0	0%	
人口10万対	39.9	63.3	71.6	31.8	80%	23.4	59%	8.4	13%	
診療所勤務医師数	31	31	29	-2	-6%	0	0%	-2	-6%	
人口10万対	44.1	47.8	50.7	6.5	15%	3.7	8%	2.8	6%	
医療施設勤務医 平均年齢	52.8	52.8	55.4	2.6	5%	-0.0	0%	2.6	5%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	9	11	5	-4	-44%	2	22%	-6	-55%
	35-49歳	23	26	21	-2	-9%	3	13%	-5	-19%
	50-64歳	8	20	25	17	213%	12	150%	5	25%
	65歳以上	19	15	19	0	0%	-4	-21%	4	27%
	75歳以上(再掲)	6	8	4	-2	-33%	2	33%	-4	-50%
男性	24-34歳	7	7	3	-4	-57%	0	0%	-4	-57%
	35-49歳	21	22	18	-3	-14%	1	5%	-4	-18%
	50-64歳	8	19	22	14	175%	11	138%	3	16%
	65歳以上	18	13	18	0	0%	-5	-28%	5	38%
	75歳以上(再掲)	6	7	4	-2	-33%	1	17%	-3	-43%
女性	24-34歳	2	4	2	0	0%	2	100%	-2	-50%
	35-49歳	2	4	3	1	50%	2	100%	-1	-25%
	50-64歳	0	1	3	3		1		2	200%
	65歳以上	1	2	1	0	0%	1	100%	-1	-50%
	75歳以上(再掲)	0	1	0	0		1		-1	-100%
病院	24-34歳	8	10	5	-3	-38%	2	25%	-5	-50%
	35-49歳	14	17	15	1	7%	3	21%	-2	-12%
	50-64歳	2	9	14	12	600%	7	350%	5	56%
	65歳以上	4	5	7	3	75%	1	25%	2	40%
	75歳以上(再掲)	1	2	2	1	100%	1	100%	0	0%
診療所	24-34歳	1	1	0	-1	-100%	0	0%	-1	-100%
	35-49歳	9	9	6	-3	-33%	0	0%	-3	-33%
	50-64歳	6	11	11	5	83%	5	83%	0	0%
	65歳以上	15	10	12	-3	-20%	-5	-33%	2	20%
	75歳以上(再掲)	5	6	2	-3	-60%	1	20%	-4	-67%
	85歳以上(再掲)	2	1	0	-2	-100%	-1	-50%	-1	-100%

奥越医療圏

＜医師数の推移＞

奥越医療圏において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科はなく、少ない診療科は、内科(総数)、小児科、精神科、外科(総数)、小児外科、心臓血管外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、皮膚科、眼科、泌尿器科、産婦人科(総数)、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、救急科、臨床研修医である。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、外科(総数)、眼科、産婦人科(総数)である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、精神科である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	59	84.0	38	72	111.1	38	70	122.3	37	11	19%	38.3	46%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	23	32.7	37	29	44.8	38	31	54.2	39	8	35%	21.4	65%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	3	4.3	35	4	6.2	38	3	5.2	35	0	0%	1.0	23%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	1	1.4	33	4	6.2	42	3	5.2	37	2	200%	3.8	268%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	12	17.1	46	9	13.9	44	8	14.0	43	-4	-33%	-3.1	-18%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	0	0.0	43	0	0.0	41	0	0.0	41	0	0	0.0	0.0
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	0	0.0	39	0	0.0	38	0	0.0	36	0	0	0.0	0.0
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	0	0.0	32	2	3.1	42	2	3.5	41	2	3.5	3.5	3.5
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	5	7.1	38	5	7.7	35	6	10.5	38	1	20%	3.4	47%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	0	0.0	41	0	0.0	39	0	0.0	37	0	0	0.0	0.0
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	0	0.0	34	1	1.5	36	2	3.5	40	2	3.5	3.5	3.5
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	4	5.7	44	5	7.7	45	3	5.2	38	-1	-25%	-0.5	-8%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	4	5.7	46	4	6.2	47	5	8.7	55	1	25%	3.0	53%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	0	0.0	32	2	3.1	42	2	3.5	42	2	3.5	3.5	3.5
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	6	8.5	47	3	4.6	38	1	1.7	31	-5	-83%	-6.8	-80%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	0	0.0	40	0	0.0	38	0	0.0	37	0	0	0.0	0.0
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	0	0.0	39	0	0.0	37	1	1.7	41	1	1.7	1.7	1.7
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	0	0.0	38	1	1.5	40	1	1.7	38	1	1.7	1.7	1.7
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				0	0.0	40	0	0.0	38	0	0	0.0	0.0
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				0	0.0	37	0	0.0	36	0	0	0.0	0.0
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	1	1.4	43	3	4.6	49	2	3.5	43	1	100%	2.1	145%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

奥越医療圏

<医師将来推計>

2016年から2036年にかけて、総人口は15,339人(-27%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は11人(-16%)減少すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は141人であり、全国平均(329人)と比べて低いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は15%増え、その伸び率は全国平均(37%)を下回る。

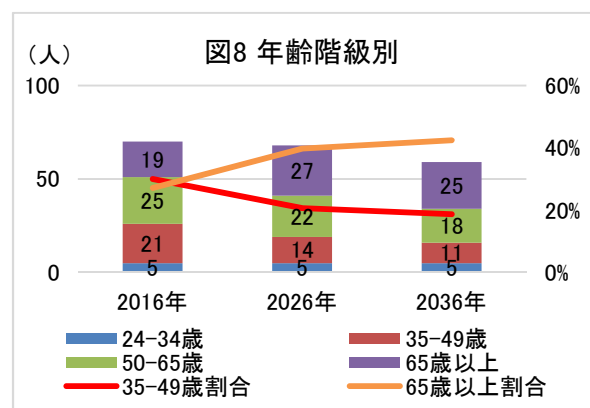
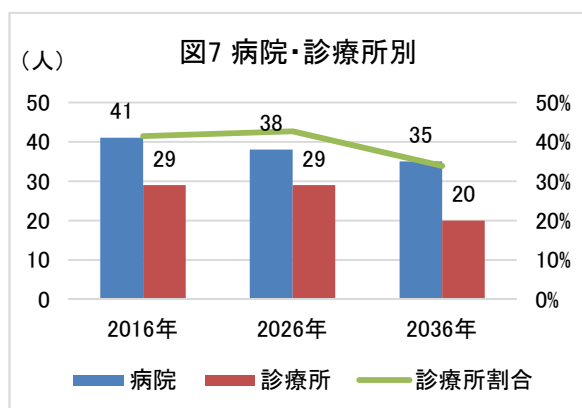
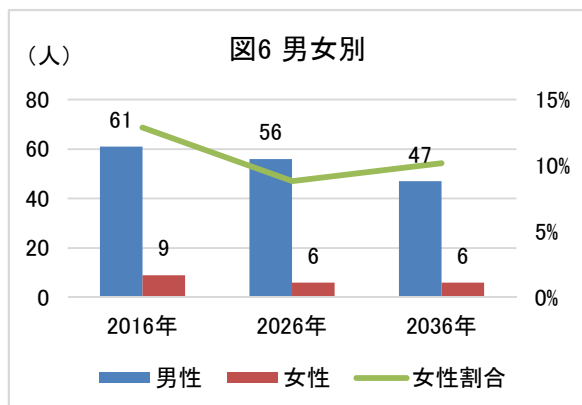
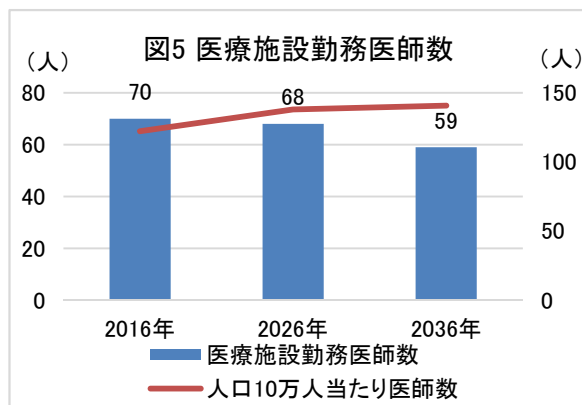
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて14人(-23%)減り、全国平均(7%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に3人(-33%)減り、全国平均(76%)を下回る増加率である。2036年の女性医師割合は10%と、全国平均(31%)を下回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて6人(-15%)減り、全国平均(25%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に9人(-31%)減り、全国平均(-7%)を上回る減少率である。2036年の診療所医師割合は34%と、全国平均(26%)を上回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は10人(-48%)減り、全国平均(8%)を下回る増加率と推計され、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて6人(32%)増え、全国平均(93%)を下回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年27%、2036年42%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



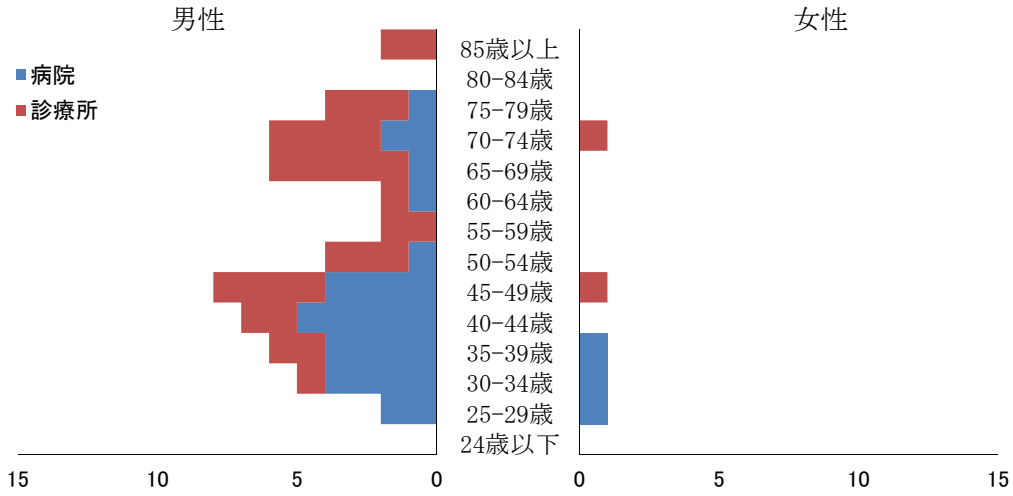
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

奥越医療圏

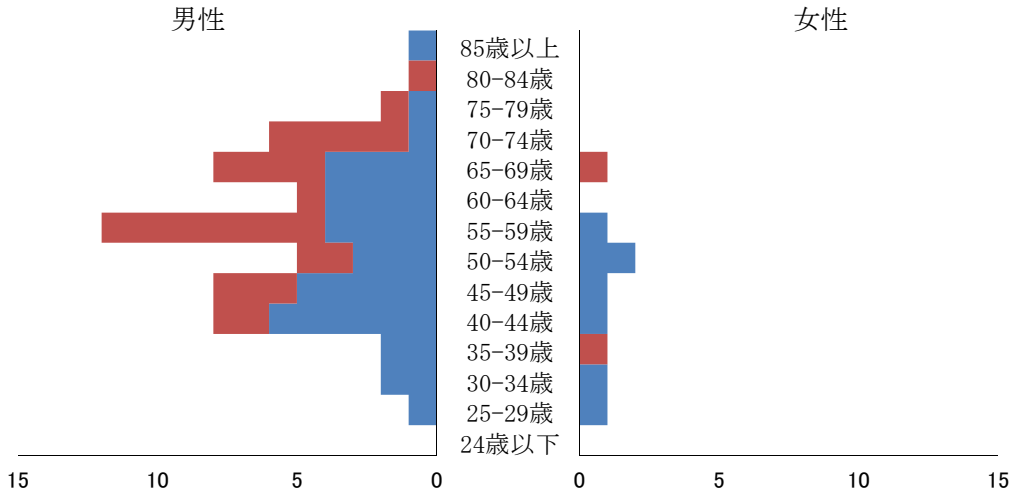
<医師数ピラミッドの推移(含推計)>

(単位:人)

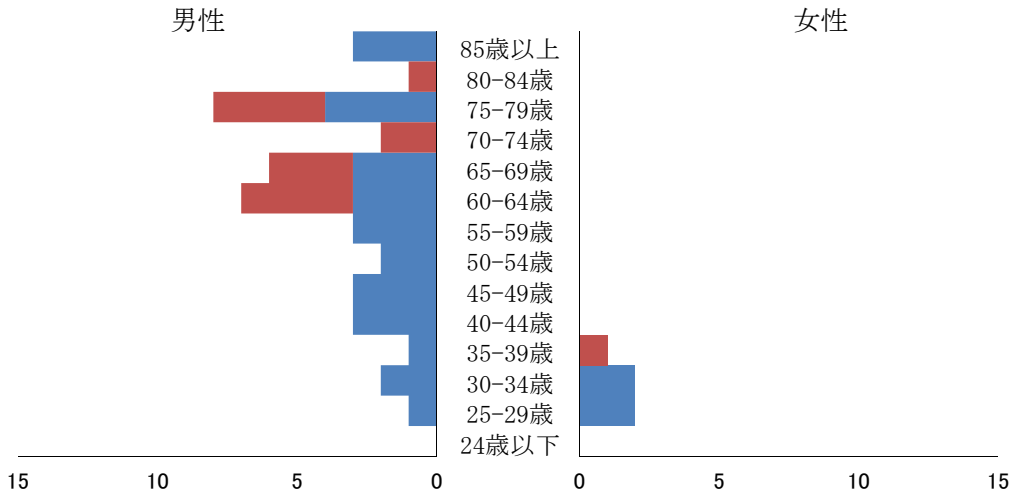
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

奥越医療圏

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	57,234	49,295	41,895	-15,339	-27%	-7,939	-14%	-7,400	-15%	
医療施設勤務医師数	70	68	59	-11	-16%	-2	-3%	-9	-13%	
人口10万対	122.3	137.9	140.8	18.5	15%	15.6	13%	2.9	2%	
男性医師数	61	56	47	-14	-23%	-5	-8%	-9	-16%	
人口10万対	106.6	113.6	112.2	5.6	5%	7.0	7%	-1.4	-1%	
女性医師数	9	6	6	-3	-33%	-3	-33%	0	0%	
人口10万対	15.7	12.2	14.3	-1.4	-9%	-3.6	-23%	2.1	18%	
病院勤務医師数	41	38	35	-6	-15%	-3	-7%	-3	-8%	
人口10万対	71.6	77.1	83.5	11.9	17%	5.5	8%	6.5	8%	
診療所勤務医師数	29	29	20	-9	-31%	0	0%	-9	-31%	
人口10万対	50.7	58.8	47.7	-2.9	-6%	8.2	16%	-11.1	-19%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	5	5	5	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	21	14	11	-10	-48%	-7	-33%	-3	-21%
	50-64歳	25	22	18	-7	-28%	-3	-12%	-4	-18%
	65歳以上	19	27	25	6	32%	8	42%	-2	-7%
	75歳以上(再掲)	4	8	10	6	150%	4	100%	2	25%
男性	24-34歳	3	3	3	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	18	9	7	-11	-61%	-9	-50%	-2	-22%
	50-64歳	22	18	14	-8	-36%	-4	-18%	-4	-22%
	65歳以上	18	26	23	5	28%	8	44%	-3	-12%
	75歳以上(再掲)	4	8	11	7	175%	4	100%	3	38%
女性	24-34歳	2	2	4	2	100%	0	0%	2	100%
	35-49歳	3	1	1	-2	-67%	-2	-67%	0	0%
	50-64歳	3	2	0	-3	-100%	-1	-33%	-2	-100%
	65歳以上	1	1	1	0	0%	0	0%	0	0%
	75歳以上(再掲)	0	0	0	0		0		0	
病院	24-34歳	5	5	5	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	15	10	8	-7	-47%	-5	-33%	-2	-20%
	50-64歳	14	13	10	-4	-29%	-1	-7%	-3	-23%
	65歳以上	7	10	12	5	71%	3	43%	2	20%
	75歳以上(再掲)	2	5	8	6	300%	3	150%	3	60%
診療所	24-34歳	0	0	0	0		0		0	
	35-49歳	6	4	4	-2	-33%	-2	-33%	0	0%
	50-64歳	11	9	7	-4	-36%	-2	-18%	-2	-22%
	65歳以上	12	16	9	-3	-25%	4	33%	-7	-44%
	75歳以上(再掲)	2	7	4	2	100%	5	250%	-3	-43%
	85歳以上(再掲)	0	0	0	0		0		0	

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

丹南医療圏

<医師数の推移>

1996年から2016年にかけて、総人口は6,446人(-3%)減少した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は22人(10%)増加した。2016年の人口10万人当たり医師数は127人であり、全国平均(240人)と比べて低いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は14%増え、その伸び率は全国平均(31%)を下回る。

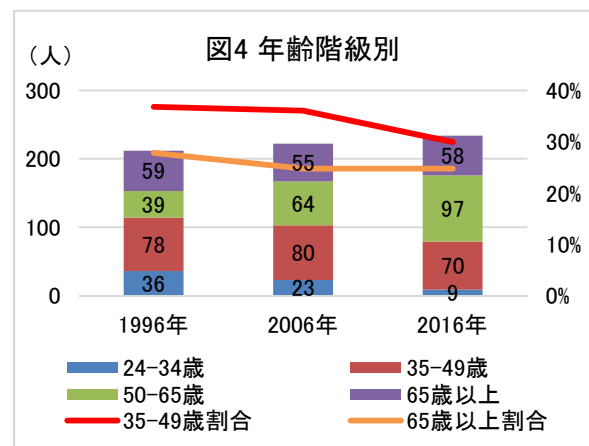
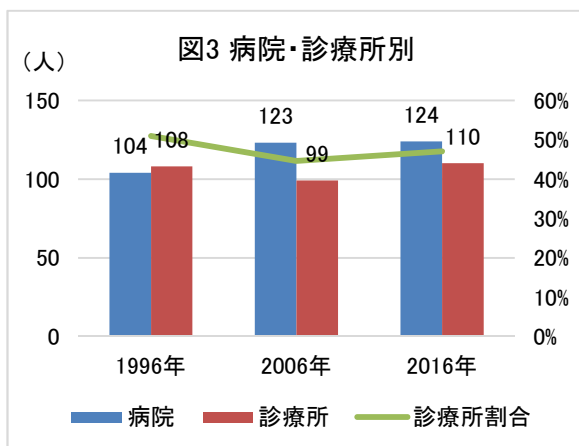
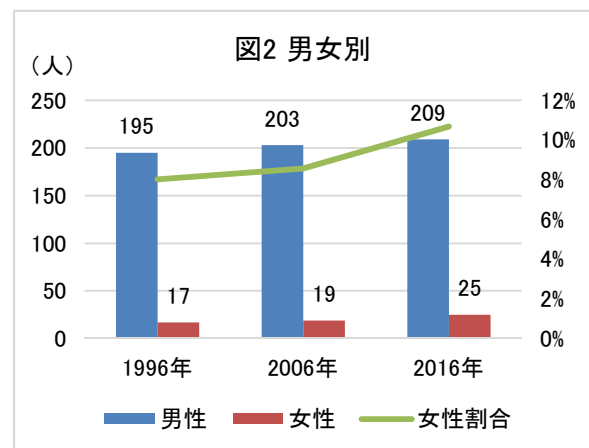
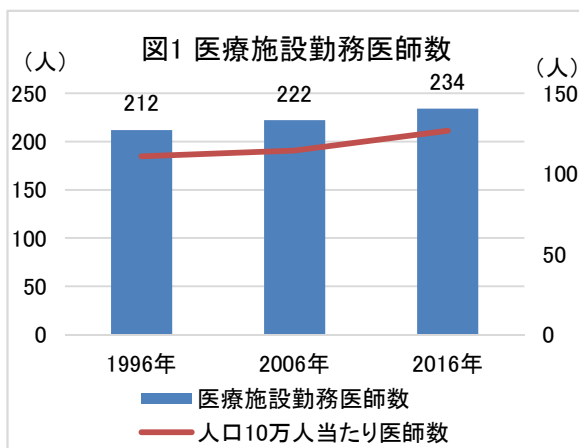
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて14人(7%)増え、全国平均(20%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に8人(47%)増え、全国平均(111%)を下回る増加率である。2016年の女性医師割合は11%と、全国平均(21%)を下回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて20人(19%)増え、全国平均(37%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に2人(2%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。2016年の診療所医師割合は47%と、全国平均(34%)を上回る。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は8人(-10%)減り、全国平均(11%)を下回る増加率となっており、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて1人(-2%)減り、全国平均(20%)を下回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年28%、2016年25%と減少傾向にある。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

丹南医療圏

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	191,229	194,247	184,783	-6,446	-3%	3,018	2%	-9,464	-5%	
総医師数	220	233	244	24	11%	13	6%	11	5%	
人口10万対	115.0	120.0	132.0	17.0	15%	4.9	4%	12.1	10%	
医療施設勤務医師数	212	222	234	22	10%	10	5%	12	5%	
人口10万対	110.9	114.3	126.6	15.8	14%	3.4	3%	12.3	11%	
男性医師数	195	203	209	14	7%	8	4%	6	3%	
人口10万対	102.0	104.5	113.1	11.1	11%	2.5	2%	8.6	8%	
女性医師数	17	19	25	8	47%	2	12%	6	32%	
人口10万対	8.9	9.8	13.5	4.6	52%	0.9	10%	3.7	38%	
病院勤務医師数	104	123	124	20	19%	19	18%	1	1%	
人口10万対	54.4	63.3	67.1	12.7	23%	8.9	16%	3.8	6%	
診療所勤務医師数	108	99	110	2	2%	-9	-8%	11	11%	
人口10万対	56.5	51.0	59.5	3.1	5%	-5.5	-10%	8.6	17%	
医療施設勤務医 平均年齢	51.8	54.1	56.6	4.9	9%	2.3	4%	2.6	5%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	36	23	9	-27	-75%	-13	-36%	-14	-61%
	35-49歳	78	80	70	-8	-10%	2	3%	-10	-13%
	50-64歳	39	64	97	58	149%	25	64%	33	52%
	65歳以上	59	55	58	-1	-2%	-4	-7%	3	5%
	75歳以上(再掲)	17	32	25	8	47%	15	88%	-7	-22%
男性	24-34歳	32	16	6	-26	-81%	-16	-50%	-10	-63%
	35-49歳	71	74	57	-14	-20%	3	4%	-17	-23%
	50-64歳	36	61	89	53	147%	25	69%	28	46%
	65歳以上	56	52	57	1	2%	-4	-7%	5	10%
	75歳以上(再掲)	16	31	24	8	50%	15	94%	-7	-23%
女性	24-34歳	4	7	3	-1	-25%	3	75%	-4	-57%
	35-49歳	7	6	13	6	86%	-1	-14%	7	117%
	50-64歳	3	3	8	5	167%	0	0%	5	167%
	65歳以上	3	3	1	-2	-67%	0	0%	-2	-67%
	75歳以上(再掲)	1	1	1	0	0%	0	0%	0	0%
病院	24-34歳	33	21	8	-25	-76%	-12	-36%	-13	-62%
	35-49歳	38	56	48	10	26%	18	47%	-8	-14%
	50-64歳	16	24	44	28	175%	8	50%	20	83%
	65歳以上	17	22	24	7	41%	5	29%	2	9%
	75歳以上(再掲)	7	12	9	2	29%	5	71%	-3	-25%
診療所	24-34歳	3	2	1	-2	-67%	-1	-33%	-1	-50%
	35-49歳	40	24	22	-18	-45%	-16	-40%	-2	-8%
	50-64歳	23	40	53	30	130%	17	74%	13	33%
	65歳以上	42	33	34	-8	-19%	-9	-21%	1	3%
	75歳以上(再掲)	10	20	16	6	60%	10	100%	-4	-20%
	85歳以上(再掲)	3	3	2	-1	-33%	0	0%	-1	-33%

丹南医療圏

<医師数の推移>

丹南医療圏において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科は、リハビリテーション科であり、少ない診療科は、内科(総数)、小児科、精神科、外科(総数)、小児外科、心臓血管外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、皮膚科、眼科、泌尿器科、産婦人科(総数)、放射線科、麻酔科、救急科、臨床研修医である。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、外科(総数)、形成外科、産婦人科(総数)である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、小児科、眼科、泌尿器科、麻酔科である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	212	110.9	41	222	114.3	39	234	126.6	37	22	10%	15.8	14%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	100	52.3	43	102	52.5	41	100	54.1	39	0	0%	1.8	3%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	7	3.7	34	11	5.7	37	13	7.0	38	6	86%	3.4	92%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	5	2.6	36	7	3.6	36	7	3.8	34	2	40%	1.2	45%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	38	19.9	49	30	15.4	46	23	12.4	41	-15	-39%	-7.4	-37%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	0	0.0	43	0	0.0	41	0	0.0	41	0	0%	0.0	0%
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	0	0.0	39	1	0.5	41	0	0.0	36	0	0%	0.0	0%
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	7	3.7	47	5	2.6	40	8	4.3	44	1	14%	0.7	18%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	16	8.4	40	20	10.3	41	22	11.9	41	6	38%	3.5	42%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	1	0.5	46	0	0.0	39	0	0.0	37	-1	-100%	-0.5	-100%
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	4	2.1	40	5	2.6	39	5	2.7	38	1	25%	0.6	29%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	6	3.1	38	9	4.6	38	9	4.9	37	3	50%	1.7	55%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	9	4.7	43	7	3.6	39	12	6.5	47	3	33%	1.8	38%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	3	1.6	39	3	1.5	36	5	2.7	39	2	67%	1.1	72%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	15	7.8	45	11	5.7	41	10	5.4	39	-5	-33%	-2.4	-31%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	0	0.0	40	5	2.6	59	6	3.2	58	6	6%	3.2	6%
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	0	0.0	39	0	0.0	37	3	1.6	40	3	3%	1.6	3%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	1	0.5	39	2	1.0	39	3	1.6	38	2	200%	1.1	210%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				0	0.0	40	1	0.5	41	1	1%	0.5	1%
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				0	0.0	37	0	0.0	36	0	0%	0.0	0%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	0	0.0	40	4	2.1	44	7	3.8	44	7	7%	3.8	7%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

丹南医療圏

< 医師将来推計 >

2016年から2036年にかけて、総人口は23,934人(-13%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は19人(8%)増加すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は157人であり、全国平均(329人)と比べて低いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は24%増え、その伸び率は全国平均(37%)を下回る。

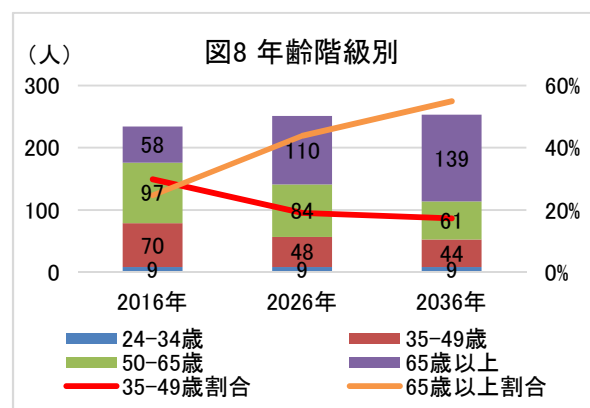
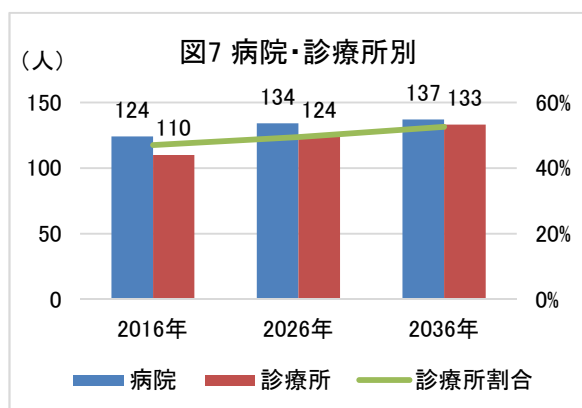
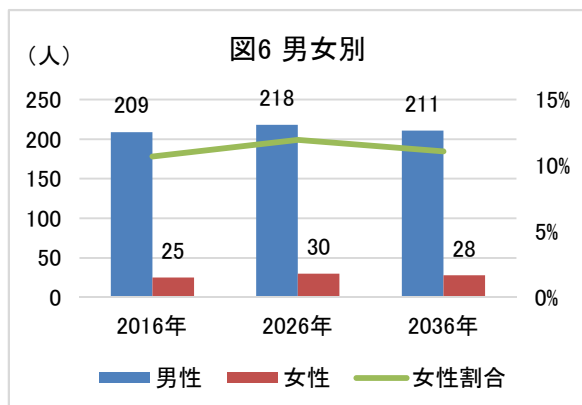
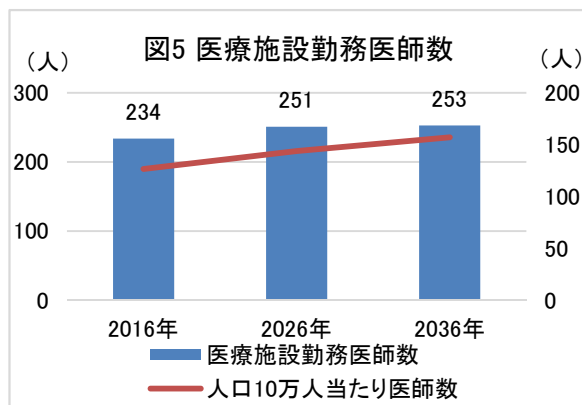
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて2人(1%)増え、全国平均(7%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に3人(12%)増え、全国平均(76%)を下回る増加率である。2036年の女性医師割合は11%と、全国平均(31%)を下回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて13人(10%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に23人(21%)増え、全国平均(-7%)を下回る減少率である。2036年の診療所医師割合は53%と、全国平均(26%)を上回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は26人(-37%)減り、全国平均(8%)を下回る増加率と推計され、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて81人(140%)増え、全国平均(93%)を上回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年25%、2036年55%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



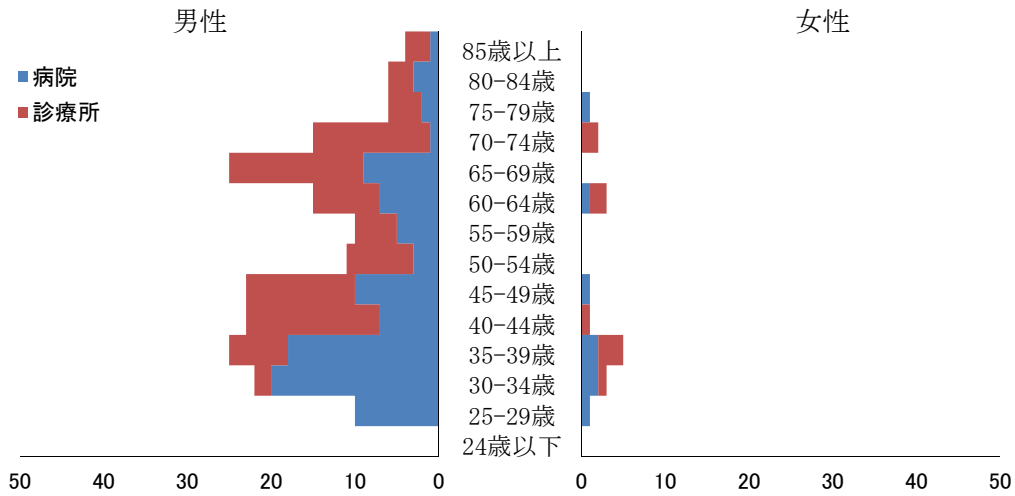
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

丹南医療圏

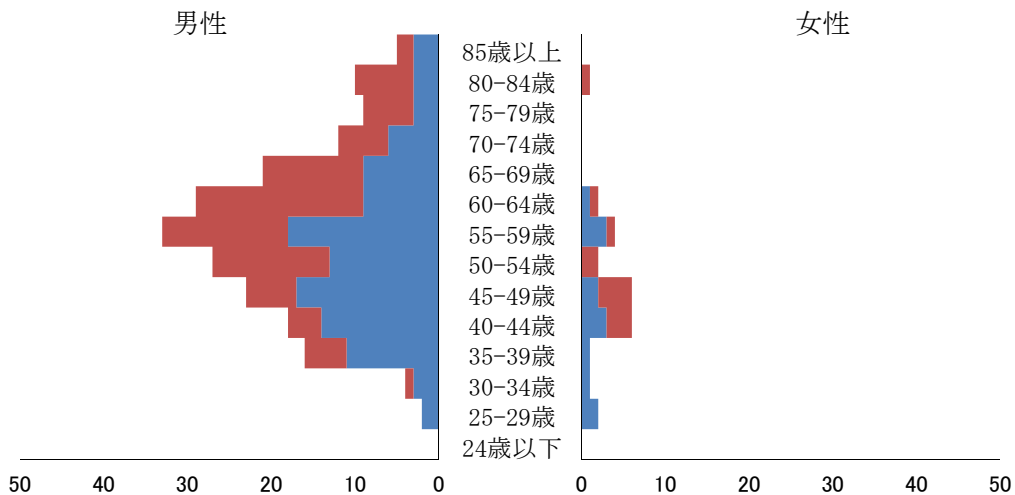
<医師数ピラミッドの推移(含推計)>

(単位:人)

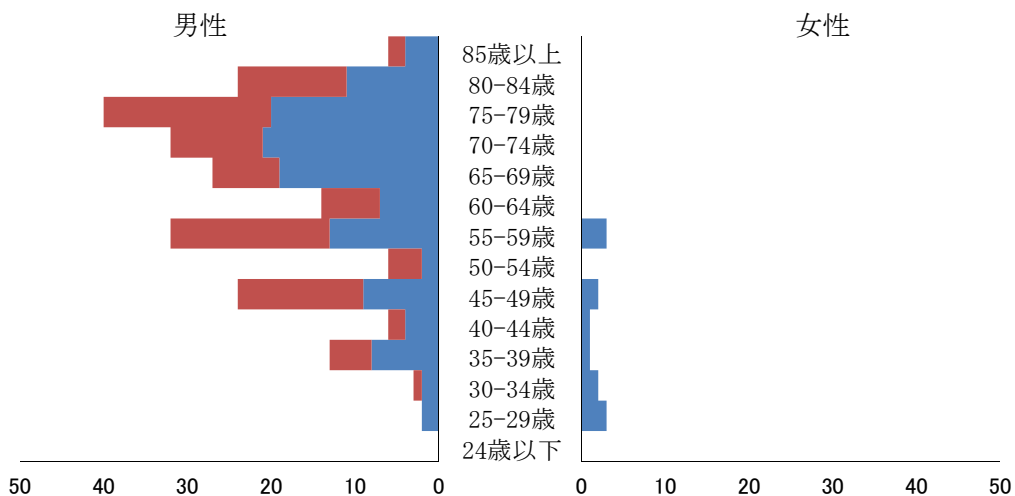
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

丹南医療圏

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	184,783	174,588	160,849	-23,934	-13%	-10,195	-6%	-13,739	-8%	
医療施設勤務医師数	234	251	253	19	8%	17	7%	2	1%	
人口10万対	126.6	143.8	157.3	30.7	24%	17.1	14%	13.5	9%	
男性医師数	209	218	211	2	1%	9	4%	-7	-3%	
人口10万対	113.1	124.9	131.2	18.1	16%	11.8	10%	6.3	5%	
女性医師数	25	30	28	3	12%	5	20%	-2	-7%	
人口10万対	13.5	17.2	17.4	3.9	29%	3.7	27%	0.2	1%	
病院勤務医師数	124	134	137	13	10%	10	8%	3	2%	
人口10万対	67.1	76.8	85.2	18.1	27%	9.6	14%	8.4	11%	
診療所勤務医師数	110	124	133	23	21%	14	13%	9	7%	
人口10万対	59.5	71.0	82.7	23.2	39%	11.5	19%	11.7	16%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	9	9	9	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	70	48	44	-26	-37%	-22	-31%	-4	-8%
	50-64歳	97	84	61	-36	-37%	-13	-13%	-23	-27%
	65歳以上	58	110	139	81	140%	52	90%	29	26%
	75歳以上(再掲)	25	37	75	50	200%	12	48%	38	103%
男性	24-34歳	6	6	5	-1	-17%	0	0%	-1	-17%
	35-49歳	57	40	33	-24	-42%	-17	-30%	-7	-18%
	50-64歳	89	67	46	-43	-48%	-22	-25%	-21	-31%
	65歳以上	57	105	127	70	123%	48	84%	22	21%
	75歳以上(再掲)	24	37	71	47	196%	13	54%	34	92%
女性	24-34歳	3	3	5	2	67%	0	0%	2	67%
	35-49歳	13	5	5	-8	-62%	-8	-62%	0	0%
	50-64歳	8	22	18	10	125%	14	175%	-4	-18%
	65歳以上	1	0	0	-1	-100%	-1	-100%	0	
	75歳以上(再掲)	1	0	0	-1	-100%	-1	-100%	0	
病院	24-34歳	8	8	8	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	48	29	26	-22	-46%	-19	-40%	-3	-10%
	50-64歳	44	42	28	-16	-36%	-2	-5%	-14	-33%
	65歳以上	24	55	75	51	213%	31	129%	20	36%
	75歳以上(再掲)	9	14	33	24	267%	5	56%	19	136%
診療所	24-34歳	1	1	1	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	22	26	26	4	18%	4	18%	0	0%
	50-64歳	53	42	42	-11	-21%	-11	-21%	0	0%
	65歳以上	34	55	64	30	88%	21	62%	9	16%
	75歳以上(再掲)	16	22	39	23	144%	6	38%	17	77%
	85歳以上(再掲)	2	2	2	0	0%	0	0%	0	0%

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

嶺南医療圏

<医師数の推移>

1996年から2016年にかけて、総人口は13,154人(-9%)減少した。図1に示すように、医療施設勤務医師数は35人(18%)増加した。2016年の人口10万人当たり医師数は164人であり、全国平均(240人)と比べて低いレベルにある。1996年から2016年にかけて人口10万人当たり医師数は29%増え、その伸び率は全国平均(31%)を下回る。

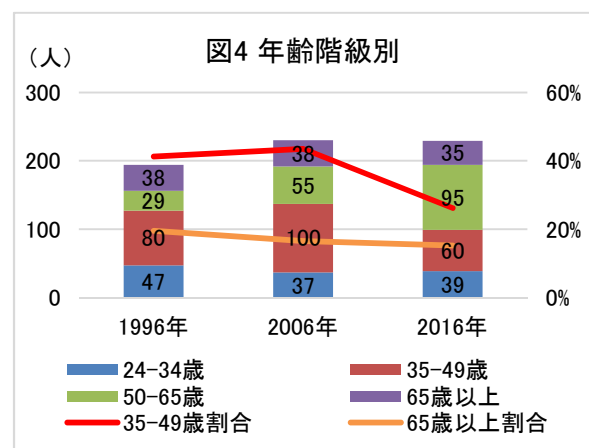
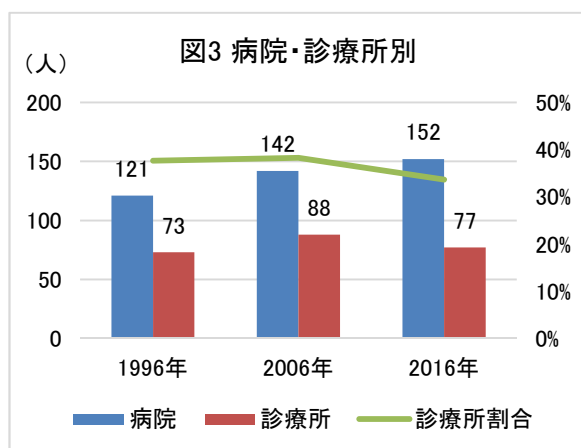
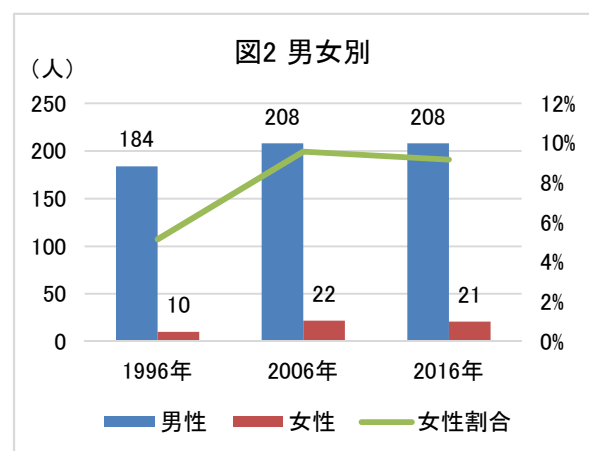
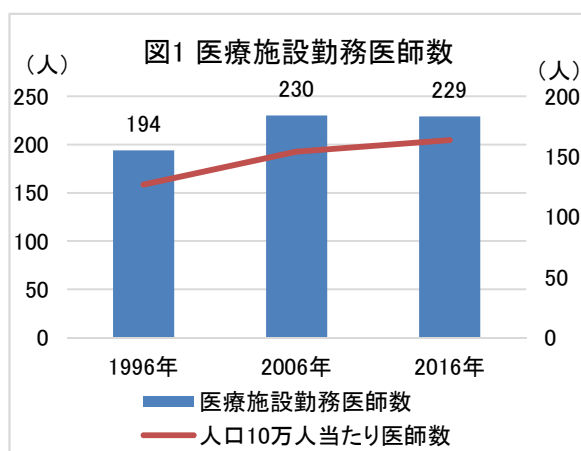
図2に示すように、男性医師は、1996年から2016年にかけて24人(13%)増え、全国平均(20%)を下回る増加率である。女性医師は、同期間に11人(110%)増え、全国平均(111%)を下回る増加率である。2016年の女性医師割合は9%と、全国平均(21%)を下回る。

図3に示すように、病院医師は、1996年から2016年にかけて31人(26%)増え、全国平均(37%)を下回る増加率である。診療所医師は、同期間に4人(5%)増え、全国平均(25%)を下回る増加率である。2016年の診療所医師割合は34%と、全国平均(34%)と同程度である。

年齢構成別にみると、図4に示すように、1996年から2016年にかけて、35-49歳の医師は20人(-25%)減り、全国平均(11%)を下回る増加率となっており、医師不足を助長している可能性がある。

65歳以上の医師は、1996年から2016年にかけて3人(-8%)減り、全国平均(20%)を下回る増加率である。65歳以上の医師の比率は、1996年20%、2016年15%と減少傾向にある。

医師数の推移に関する詳細については、表1に掲載。



※全国値については序章全国版を参照。

嶺南医療圏

表1 医師数の推移

	1996年	2006年	2016年	1996年→2016年		1996年→2006年		2006年→2016年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	153,081	149,234	139,927	-13,154	-9%	-3,847	-3%	-9,307	-6%	
総医師数	201	240	241	40	20%	39	19%	1	0%	
人口10万対	131.3	160.8	172.2	40.9	31%	29.5	22%	11.4	7%	
医療施設勤務医師数	194	230	229	35	18%	36	19%	-1	0%	
人口10万対	126.7	154.1	163.7	36.9	29%	27.4	22%	9.5	6%	
男性医師数	184	208	208	24	13%	24	13%	0	0%	
人口10万対	120.2	139.4	148.6	28.5	24%	19.2	16%	9.3	7%	
女性医師数	10	22	21	11	110%	12	120%	-1	-5%	
人口10万対	6.5	14.7	15.0	8.5	130%	8.2	126%	0.3	2%	
病院勤務医師数	121	142	152	31	26%	21	17%	10	7%	
人口10万対	79.0	95.2	108.6	29.6	37%	16.1	20%	13.5	14%	
診療所勤務医師数	73	88	77	4	5%	15	21%	-11	-13%	
人口10万対	47.7	59.0	55.0	7.3	15%	11.3	24%	-3.9	-7%	
医療施設勤務医 平均年齢	47.2	49.7	51.4	4.2	9%	2.5	5%	1.7	3%	
医療施設勤務医師数	24-34歳	47	37	39	-8	-17%	-10	-21%	2	5%
	35-49歳	80	100	60	-20	-25%	20	25%	-40	-40%
	50-64歳	29	55	95	66	228%	26	90%	40	73%
	65歳以上	38	38	35	-3	-8%	0	0%	-3	-8%
	75歳以上(再掲)	12	22	13	1	8%	10	83%	-9	-41%
男性	24-34歳	45	29	34	-11	-24%	-16	-36%	5	17%
	35-49歳	75	91	51	-24	-32%	16	21%	-40	-44%
	50-64歳	29	53	89	60	207%	24	83%	36	68%
	65歳以上	35	35	34	-1	-3%	0	0%	-1	-3%
	75歳以上(再掲)	10	19	13	3	30%	9	90%	-6	-32%
女性	24-34歳	2	8	5	3	150%	6	300%	-3	-38%
	35-49歳	5	9	9	4	80%	4	80%	0	0%
	50-64歳	0	2	6	6		2		4	200%
	65歳以上	3	3	1	-2	-67%	0	0%	-2	-67%
	75歳以上(再掲)	2	3	0	-2	-100%	1	50%	-3	-100%
病院	24-34歳	43	33	36	-7	-16%	-10	-23%	3	9%
	35-49歳	58	74	50	-8	-14%	16	28%	-24	-32%
	50-64歳	12	27	52	40	333%	15	125%	25	93%
	65歳以上	8	8	14	6	75%	0	0%	6	75%
	75歳以上(再掲)	1	5	3	2	200%	4	400%	-2	-40%
診療所	24-34歳	4	4	3	-1	-25%	0	0%	-1	-25%
	35-49歳	22	26	10	-12	-55%	4	18%	-16	-62%
	50-64歳	17	28	43	26	153%	11	65%	15	54%
	65歳以上	30	30	21	-9	-30%	0	0%	-9	-30%
	75歳以上(再掲)	11	17	10	-1	-9%	6	55%	-7	-41%
	85歳以上(再掲)	0	5	4	4		5		-1	-20%

嶺南医療圏

＜医師数の推移＞

嶺南医療圏において、2016年の人口当たり医師数が多い診療科はなく、少ない診療科は、内科(総数)、小児外科、心臓血管外科、整形外科、形成外科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、産婦人科(総数)、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科である。

また、1996年から2016年において医師が減少した診療科は、内科(総数)、産婦人科(総数)である。同期間に医師が50%以上増加した診療科は、精神科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、麻酔科、臨床研修医である。

表2 診療科別医師数の推移

		1996年			2006年			2016年			1996年→2016年			
		人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	人数	10万 当り	標準偏差 偏差値	増減数	増加率	10万 当り 増減数	10万 当り 増加率
医療施設勤務医師数	全国	230,297	183.4	81	263,540	206.3	80	304,759	239.8	90	74,462	32%	56.4	31%
	当該地域	194	126.7	43	230	154.1	44	229	163.7	42	35	18%	36.9	29%
内科(総数)	全国	94,495	75.3	34	100,197	78.4	29	113,688	89.5	31	19,193	20%	14.2	19%
	当該地域	87	56.8	45	84	56.3	42	80	57.2	40	-7	-8%	0.3	1%
小児科	全国	13,781	11.0	4.5	14,700	11.5	4.5	16,937	13.3	5.4	3,156	23%	2.4	21%
	当該地域	14	9.1	46	19	12.7	53	16	11.4	47	2	14%	2.3	25%
精神科	全国	10,093	8.0	4.0	12,474	9.8	4.5	15,609	12.3	5.5	5,516	55%	4.2	53%
	当該地域	5	3.3	38	11	7.4	45	15	10.7	47	10	200%	7.5	228%
外科(総数)	全国	26,070	20.8	9.2	23,224	18.2	6.9	24,073	18.9	7.3	-1,997	-8%	-1.8	-9%
	当該地域	25	16.3	45	28	18.8	51	25	17.9	49	0	0%	1.5	9%
小児外科	全国	554	0.4	0.6	661	0.5	0.6	802	0.6	0.7	248	45%	0.2	43%
	当該地域	0	0.0	43	0	0.0	41	0	0.0	41	0	0	0.0	0.0
心臓血管外科	全国	2,027	1.6	1.5	2,585	2.0	1.7	3,137	2.5	1.8	1,110	55%	0.9	53%
	当該地域	0	0.0	39	0	0.0	38	0	0.0	36	0	0	0.0	0.0
脳神経外科	全国	5,634	4.5	2.5	6,241	4.9	2.3	7,360	5.8	2.6	1,726	31%	1.3	29%
	当該地域	4	2.6	43	4	2.7	41	8	5.7	50	4	100%	3.1	119%
整形外科	全国	16,423	13.1	4.9	18,870	14.8	4.8	21,293	16.8	5.3	4,870	30%	3.7	28%
	当該地域	19	12.4	49	23	15.4	51	19	13.6	44	0	0%	1.2	9%
形成外科	全国	1,307	1.0	1.2	1,909	1.5	1.4	2,593	2.0	1.6	1,286	98%	1.0	96%
	当該地域	0	0.0	41	0	0.0	39	0	0.0	37	0	0	0.0	0.0
皮膚科	全国	6,796	5.4	3.5	7,845	6.1	3.2	9,102	7.2	3.6	2,306	34%	1.7	32%
	当該地域	4	2.6	42	7	4.7	46	6	4.3	42	2	50%	1.7	64%
眼科	全国	10,982	8.7	4.7	12,362	9.7	4.1	13,144	10.3	4.1	2,162	20%	1.6	18%
	当該地域	7	4.6	41	8	5.4	40	7	5.0	37	0	0%	0.4	9%
耳鼻咽喉科	全国	8,834	7.0	3.5	8,909	7.0	3.2	9,272	7.3	3.1	438	5%	0.3	4%
	当該地域	6	3.9	41	9	6.0	47	8	5.7	45	2	33%	1.8	46%
泌尿器科	全国	5,174	4.1	2.3	6,133	4.8	2.3	7,062	5.6	2.5	1,888	36%	1.4	35%
	当該地域	2	1.3	38	6	4.0	47	5	3.6	42	3	150%	2.3	174%
産婦人科(総数)	全国	12,422	9.9	4.3	11,783	9.2	3.9	13,154	10.3	4.6	732	6%	0.5	5%
	当該地域	11	7.2	44	10	6.7	44	7	5.0	38	-4	-36%	-2.2	-30%
リハビリテーション科	全国	904	0.7	0.7	1,855	1.5	1.2	2,484	2.0	1.6	1,580	175%	1.2	171%
	当該地域	1	0.7	49	2	1.3	49	1	0.7	42	0	0%	0.1	9%
放射線科	全国	4,192	3.3	3.1	4,883	3.8	3.0	6,587	5.2	3.7	2,395	57%	1.8	55%
	当該地域	3	2.0	45	4	2.7	46	4	2.9	44	1	33%	0.9	46%
麻酔科	全国	5,046	4.0	3.3	6,209	4.9	3.4	9,162	7.2	4.5	4,116	82%	3.2	79%
	当該地域	4	2.6	46	5	3.4	45	6	4.3	43	2	50%	1.7	64%
救急科	全国				1,698	1.3	1.3	3,244	2.6	2.1	1,546	91%	1.2	92%
	当該地域				0	0.0	40	5	3.6	55	5		3.6	
臨床研修医	全国				14,402	11.3	8.6	16,701	13.1	9.3	16,701	16%	1.9	17%
	当該地域				5	3.4	41	13	9.3	46	13	160%	5.9	177%
その他	全国	5,563	4.4	4.5	6,600	5.2	5.1	9,355	7.4	5.7	3,792	68%	2.9	66%
	当該地域	2	1.3	43	5	3.4	46	4	2.9	42	2	100%	1.6	119%

(注1) 救急科と臨床研修医については2006年→2016年の推移を表記した。

(注2) 医師数が多い診療科は偏差値が55より大きい科、少ない診療科は偏差値が45より小さい科。偏差値の定義は序章を参照。

嶺南医療圏

< 医師将来推計 >

2016年から2036年にかけて、総人口は23,094人(-17%)減少すると推計された。図5に示すように、医療施設勤務医師数は24人(10%)増加すると推計された。2036年の人口10万人当たり医師数は217人であり、全国平均(329人)と比べて低いレベルにある。2016年から2036年にかけて人口10万人当たり医師数は32%増え、その伸び率は全国平均(37%)を下回る。

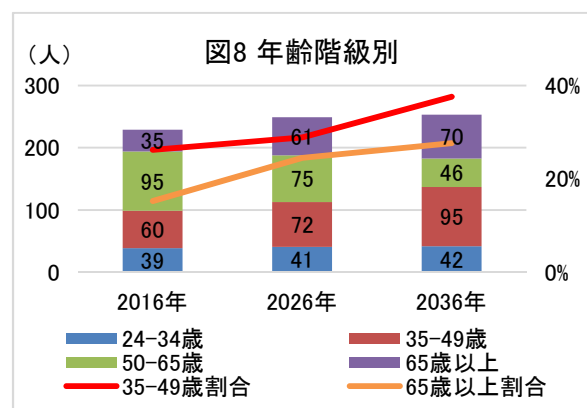
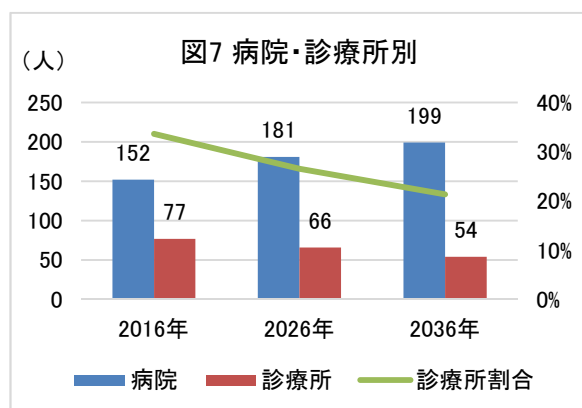
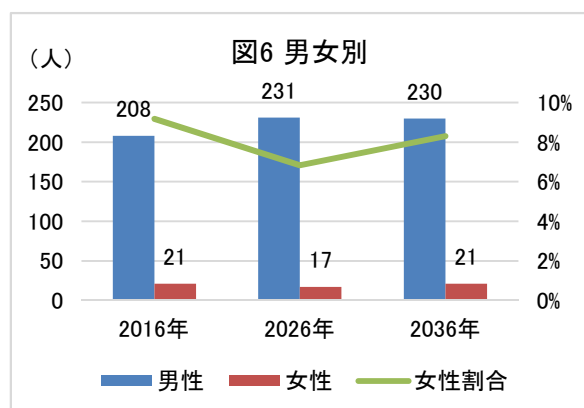
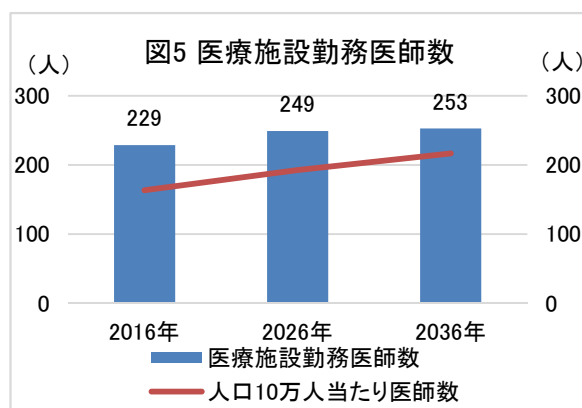
図6に示すように、男性医師は、2016年から2036年にかけて22人(11%)増え、全国平均(7%)を上回る増加率である。女性医師は、同期間に増減がなく、全国平均(76%)を下回る増加率である。2036年の女性医師割合は8%と、全国平均(31%)を下回る。

図7に示すように、病院医師は、2016年から2036年にかけて47人(31%)増え、全国平均(25%)を上回る増加率である。診療所医師は、同期間に23人(-30%)減り、全国平均(-7%)を上回る減少率である。2036年の診療所医師割合は21%と、全国平均(26%)を下回る。

年齢構成別にみると、図8に示すように、2016年から2036年にかけて、35-49歳の医師は35人(58%)増え、全国平均(8%)を上回る増加率と推計された。

65歳以上の医師は、2016年から2036年にかけて35人(100%)増え、全国平均(93%)を上回る増加率と推計された。65歳以上の医師の比率は、2016年15%、2036年28%と増加傾向にあり、地域の医師の高齢化が着実に進んでいくと推計された。

医師将来推計に関する詳細については、表3に掲載。



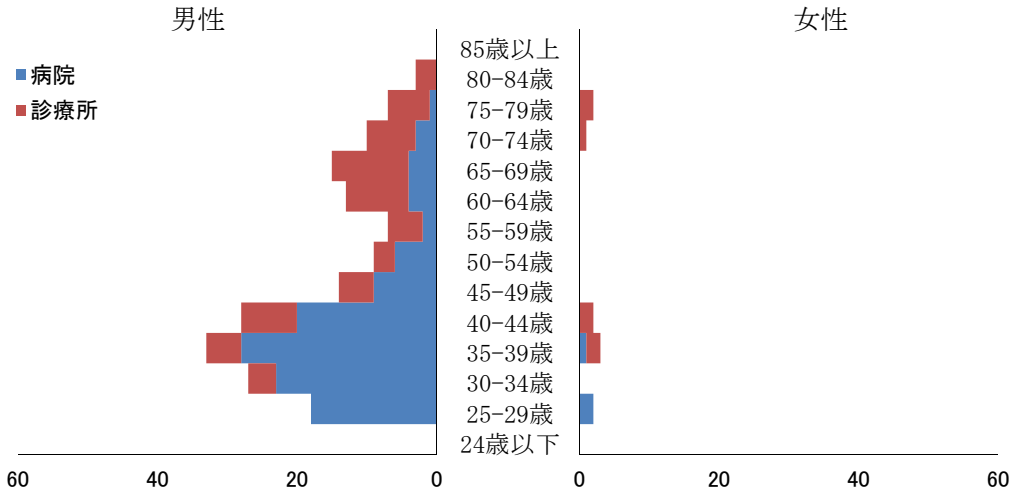
(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

嶺南医療圏

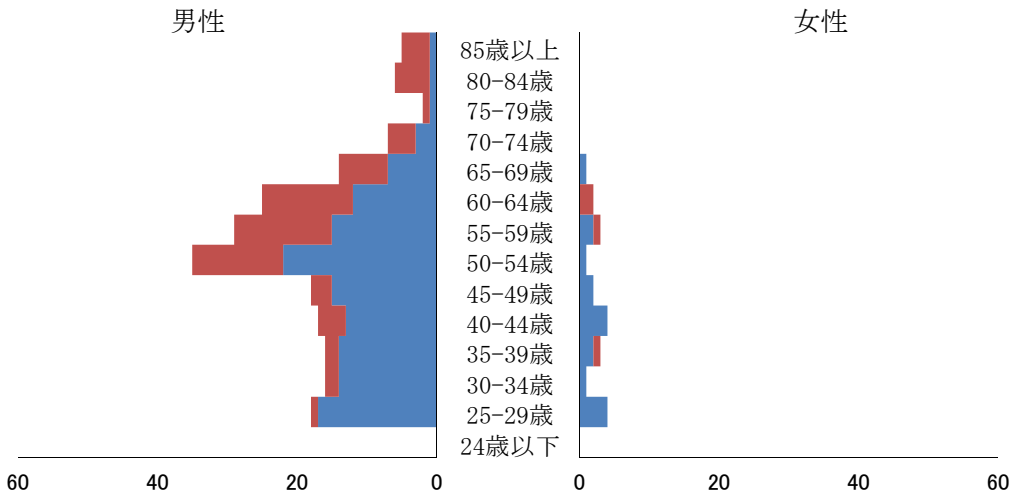
<医師数ピラミッドの推移(含推計)>

(単位:人)

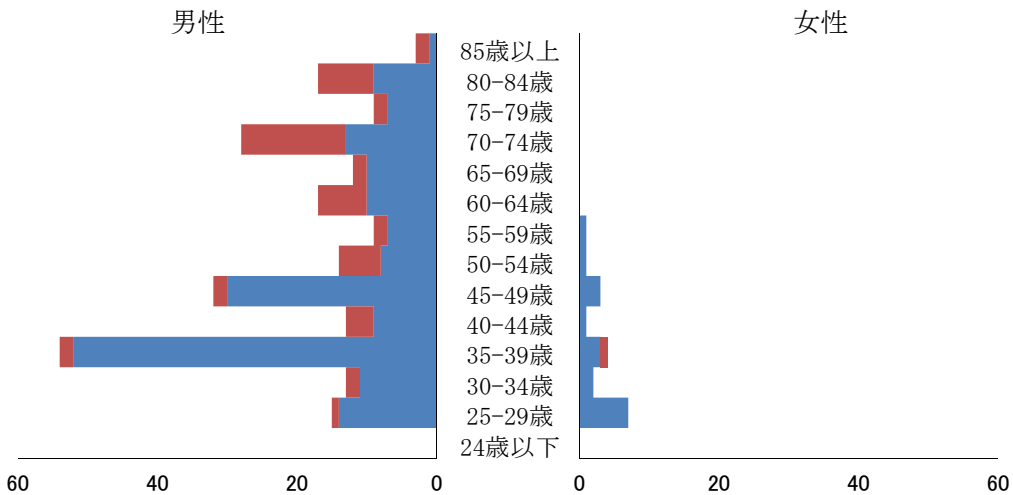
1996年



2016年



2036年



(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)

嶺南医療圏

表3 医師将来推計

	2016年	2026年	2036年	2016年→2036年		2016年→2026年		2026年→2036年		
	実数	実数	実数	増減数	増加率	増減数	増加率	増減数	増加率	
総人口	139,927	129,212	116,833	-23,094	-17%	-10,715	-8%	-12,379	-10%	
医療施設勤務医師数	229	249	253	24	10%	20	9%	4	2%	
人口10万対	163.7	192.7	216.5	52.9	32%	29.0	18%	23.8	12%	
男性医師数	208	231	230	22	11%	23	11%	-1	0%	
人口10万対	148.6	178.8	196.9	48.2	32%	30.1	20%	18.1	10%	
女性医師数	21	17	21	0	0%	-4	-19%	4	24%	
人口10万対	15.0	13.2	18.0	3.0	20%	-1.9	-12%	4.8	37%	
病院勤務医師数	152	181	199	47	31%	29	19%	18	10%	
人口10万対	108.6	140.1	170.3	61.7	57%	31.5	29%	30.2	22%	
診療所勤務医師数	77	66	54	-23	-30%	-11	-14%	-12	-18%	
人口10万対	55.0	51.1	46.2	-8.8	-16%	-3.9	-7%	-4.9	-10%	
医療施設 勤務医師 数	24-34歳	39	41	42	3	8%	2	5%	1	2%
	35-49歳	60	72	95	35	58%	12	20%	23	32%
	50-64歳	95	75	46	-49	-52%	-20	-21%	-29	-39%
	65歳以上	35	61	70	35	100%	26	74%	9	15%
	75歳以上(再掲)	13	12	26	13	100%	-1	-8%	14	117%
男性	24-34歳	34	36	28	-6	-18%	2	6%	-8	-22%
	35-49歳	51	71	96	45	88%	20	39%	25	35%
	50-64歳	89	69	41	-48	-54%	-20	-22%	-28	-41%
	65歳以上	34	55	65	31	91%	21	62%	10	18%
	75歳以上(再掲)	13	12	24	11	85%	-1	-8%	12	100%
女性	24-34歳	5	5	9	4	80%	0	0%	4	80%
	35-49歳	9	7	8	-1	-11%	-2	-22%	1	14%
	50-64歳	6	5	4	-2	-33%	-1	-17%	-1	-20%
	65歳以上	1	0	0	-1	-100%	-1	-100%	0	
	75歳以上(再掲)	0	0	0	0		0		0	
病院	24-34歳	36	38	39	3	8%	2	6%	1	3%
	35-49歳	50	62	83	33	66%	12	24%	21	34%
	50-64歳	52	47	30	-22	-42%	-5	-10%	-17	-36%
	65歳以上	14	34	47	33	236%	20	143%	13	38%
	75歳以上(再掲)	3	8	20	17	567%	5	167%	12	150%
診療所	24-34歳	3	3	3	0	0%	0	0%	0	0%
	35-49歳	10	8	8	-2	-20%	-2	-20%	0	0%
	50-64歳	43	24	14	-29	-67%	-19	-44%	-10	-42%
	65歳以上	21	31	29	8	38%	10	48%	-2	-6%
	75歳以上(再掲)	10	6	12	2	20%	-4	-40%	6	100%
	85歳以上(再掲)	4	2	1	-3	-75%	-2	-50%	-1	-50%

(注) 二次医療圏別の5歳階級別、性別、病院・診療所別医師数の過去(2006年から2016年まで)のトレンドが、今後20年間も同様に移行すると仮定した場合に、2016年の10年後、20年後に医師数が何人になるかを将来推計した。(ただし、2026年、2036年の34歳以下の医師数は、2016年の医師数に近年の定員増を考慮した数とし、男女比については、2036年に1:1になると仮定した)